



第8回山口市総合計画策定協議会 説明資料



【目 次】

<u>I</u>	<u>第7回山口市総合計画策定協議会以降の状況</u>	
1	第7回策定協議会（10/27）における御意見等	1
2	脱炭素先行地域の選定について	3
3	市民参画による策定体制の状況	
	（1）共につくる未来懇話会（障がい福祉分野別）	5
	（2）市民意識調査の実施	
	① 子育て世代アンケート	
	ア 概要	6
	イ 集計結果（抜粋）	7
	ウ お子さんを連れて安心して過ごせる おすすめスポットランキング	16
	エ 自由記入における主な意見	17
	② 大学生意識調査	
	ア 概要	21
	イ 集計結果（抜粋）	22
	ウ 自由記入における主な意見	38
<u>II</u>	<u>今後の予定</u>	
1	後期基本計画策定のスケジュール	44

I 第7回山口市総合計画策定協議会以降の状況

1 第7回策定協議会（10/27）における御意見等

- 「管理職に占める女性職員の割合」について、目標値が10%となっているが、国全体では、30%程度の登用率を目指されている。ダイバーシティは活力の根源だと思っており、審議会においても大事なことだと思うので、引き続き女性登用を進めていただきたいと思う。
- 傾向としてはあるが、男女それぞれに優れている分野があると思う。女性の積極登用と得意な能力のバランスを図っていく必要がある。女性も頑張りたいと思う。
- 当事者から意見をもらう場合と、支援や運営側に意見をもらう場合と、その時々目的に応じて、意見をいただくべきだと思う。
- 定型業務は出来るだけ省力化して、その分のリソースを対人的なサービスに重点的に割り当てるとするのは、とても重要だと思う。
- 「農山村と都市の共存共栄」について、広域的な山口市という市域を考えたときに、まさにそうだという印象を持っている。21地域ごとに抱えている地域課題は異なる。その異なる課題をひとくくりに整理するのではなく、しっかり区分して考えるべきだと思う。
- 広域道路ネットワーク形成と歩いて暮らせるまちづくりの両立が必要と思う。また、歩いて暮らせるまちづくりでは、二次交通の充実が必要だと思う。そのため、公共交通の維持・確保に留まることなく、ネットワーク全体の再構築や形成というかたちで位置づけていただきたいと思う。
- 教育分野と、子育て分野は一体的なものだと思う。幼稚園・保育園は一体的になっており、「子どもの居場所づくり」や、放課後児童クラブ、放課後等デイサービスは、学校と密接につながっている。ヤングケアラーの問題は、不登校を始めとした学校の課題にもつながっていくと思う。また、特別な配慮が必要な子どもたちが不登校になる問題については、福祉分野との連携も大切になる。こうしたことに対応するためのワンストップ窓口の設置や行政内部の連携が必要だと思う。
- 農山村エリアでは、通学手段や塾がないなどの学校教育の周辺環境の課題があると思う。とりわけ、過疎地域においては、こうした点に配慮した検討が必要だと思う。

- 自治会の課題として、自治会加入率の低下や担い手不足がある。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、総会や祭り、健康づくり活動などの制限がなされ、住民同士のつながりが希薄化していると思う。
- 理想の地方都市は、イタリアのトスカーナ州シエナのような、都市部と農村が一体となって、豊かな生活をしているまちであると思う。そのカギは、「テリトリーオ(都市と周辺の田園や農村が密接に繋がり支え合って、共通の経済・文化のアイデンティティを持ち、個性を発揮してきたまとまり)」と「コモنزの精神(社会関係資本を地域で共有すべき価値として人々に認識させ行動させる価値概念、すなわち、共有財産に誇りを持つこと、郷土愛)」を持つことであり、これは、世界共通の法則なのではないかと思う。
- 今の若者が就職に際して大切にしている価値観のひとつに、「家族や地元への愛着」や「帰りたいと思える場所である」ということもあると思う。在学や転勤で山口に住んだことのある人にとって、山口がいつまでも心に残る「第2のふるさと」となることができれば、一度転出した方を呼び戻すことができると思う。
- 今は、人間が生きやすく、豊かに暮らせる社会になったが、持続可能性が失われつつあるのではないかと思う。持続可能性をしっかりと考えていく必要があると思う。そのひとつとして、脱炭素を進めていくことは持続可能なまちづくりにつながり、若者や子どもたちにもよいまちを残していくことにつながると思う。
- 総合計画は、総花的な計画にならざるを得ない部分もあるが、新しさや山口らしさ、山口市の魅力をアピールしつつ、未来の山口市のビジョンを押し出していけるかたちとなれば良いと思う。
- 山口市の道路の混雑は、県庁と市役所職員の通勤による影響が大きいと思う。持続可能な県都の未来を目指すために、まず、市職員等が車通勤を抑制するような試行が必要と思う。次世代も「ずっと元気」なまちにしていきたいと思う。
- 自治会加入率の低下について、自治会役員等の若者や女性の割合は低いのではないかと思う。若者や女性の参画が図られるようなインセンティブの検討をすることで、あらゆる世代が自治会活動に参加しやすくなると思う。

2 脱炭素先行地域の選定について

脱炭素先行地域の選定状況（第1回+第2回）

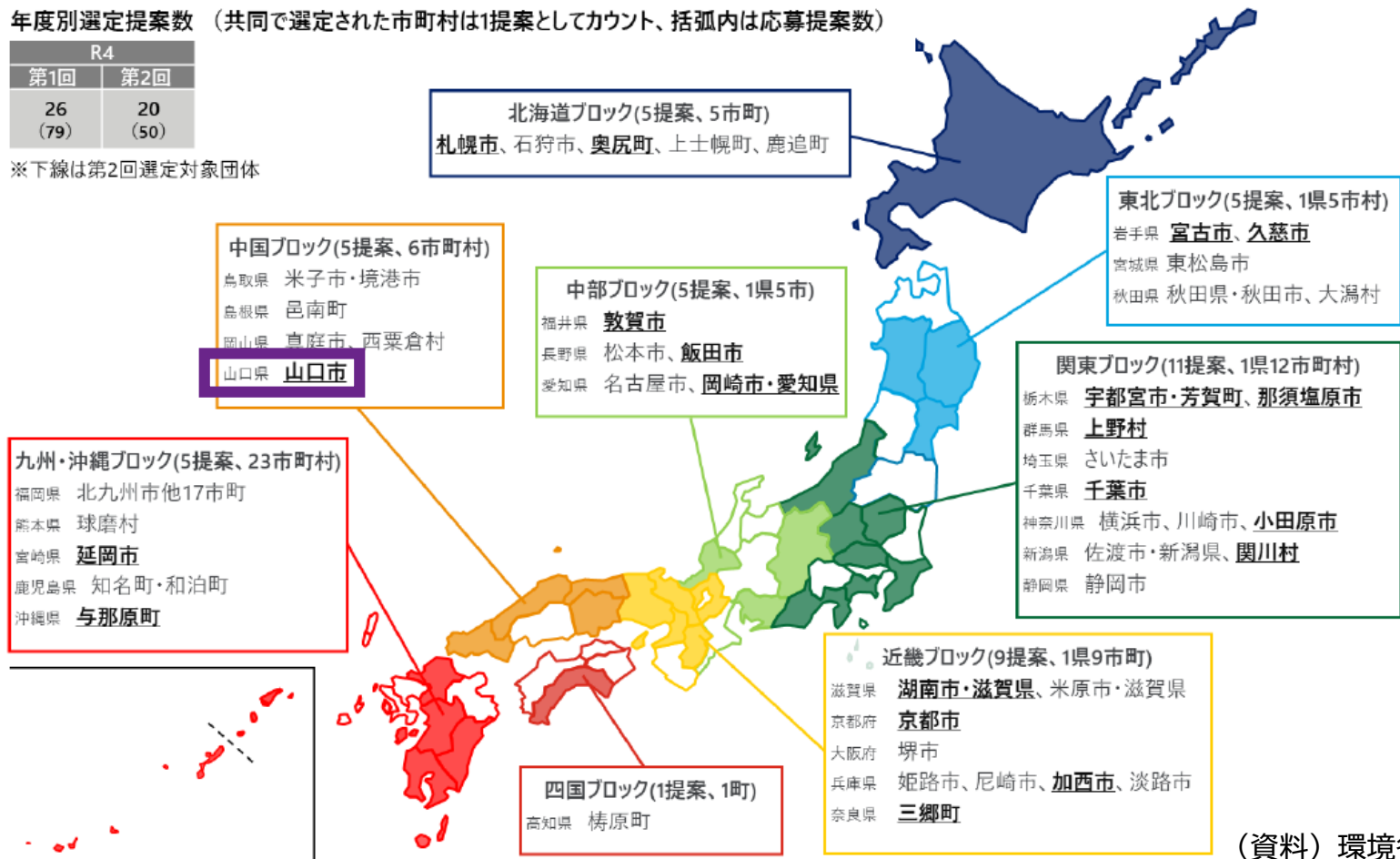
本年11月1日
脱炭素先行地域に選定！
全国46か所の1つに

■ 第2回までに、全国29道府県66市町村の**46提案**が選定された。

年度別選定提案数（共同で選定された市町村は1提案としてカウント、括弧内は応募提案数）

R4	
第1回	第2回
26 (79)	20 (50)

※下線は第2回選定対象団体



(資料) 環境省

山口市：「ゼロカーボン中心市街地」～商店街・住民・企業・市の共創による市街地脱炭素化の実現～

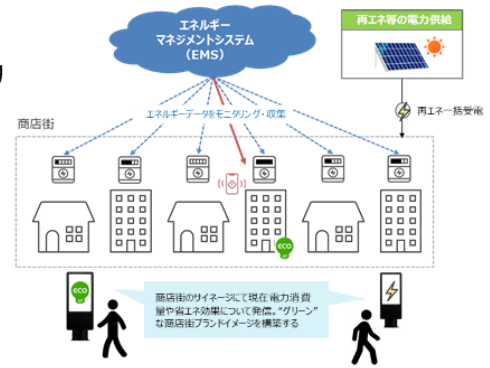
脱炭素先行地域の対象： **山口市中心市街地エリア**
 主なエネルギー需要家： 商店街7か所281店舗、住宅2,289世帯、郵便局・金融機関3施設、公共施設4施設
 共同提案者： 西日本電信電話株式会社、NTTアノードエナジー株式会社、株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所
 NTTビジネスソリューションズ株式会社、株式会社山口銀行、株式会社YMFG ZONEプランニング

取組の全体像

「職住近接」の**中心市街地**における**商店街**周辺エリアを対象に、**ソーラーアーケード**を含む太陽光発電の導入や廃棄物発電の活用により脱炭素化を実現。商店街全体の**消費電力量・CO₂排出量の見える化**、市民ファンドと連携した**エコポイント制度**やナッジ等の活用により市民や観光客の行動変容を促す。また、公用車をEV化し、閉庁時にはEVカーシェアとして活用するとともに、隣接する湯田温泉等の観光地と中心市街地を結ぶ乗合バスをEV化。

1. 民生部門電力の脱炭素化に関する主な取組

- ① 中心市街地の約700mの**アーケード**を含む7か所の**商店街**、市役所新本庁舎、湯田温泉パーク・交流センター（仮称）において、**オンサイトPPA**による太陽光発電（1,000kW程度）・**蓄電池**を導入するとともに、清掃工場や最終処分場跡地へ**オフサイトPPA**による大規模太陽光発電（4,500kW程度）を導入し、2023年度に設立予定の**地域新電力会社**を介して再エネ電力を供給
- ② 商店街全体の消費電力量やCO₂排出量を見える化する**EMS**を導入
- ③ **ナッジ**を活用し、利用者属性に応じた情報発信を行い、省エネ行動に対して商店街で利用可能な**エコポイント**を付与



2. 民生部門電力以外の脱炭素化に関する主な取組

- ① 2027年度までに**公用車をEV化（100台）**し、閉庁時を中心に**EVカーシェア**として活用
- ② 温泉・宿泊・飲食の機能を有する**湯田温泉**と中心市街地を結ぶ**乗合バスをEV化**
- ③ 2024年度に整備予定の**湯田温泉パーク・交流センター（仮称）**では、温泉熱を生かした**熱交換**による温水利用等を実施

3. 取組により期待される主な効果

- ① 商店街店舗等への太陽光発電・蓄電池・省エネ設備・EMS導入による**レジリエンスの強化**を図りながら、再エネの地産地消を通じて商店街全体のブランド力を向上させるとともに、エコポイントの導入やナッジ等を活用して**地域内経済の好循環**を生み出すことで、中心市街地を活性化
- ② 中心市街地における魅力的なまちづくりとEVカーシェアの導入によって、主に若者世代や子育て世代が車を持たずとも暮らしやすい**まちなか居住とウォークアブルなまちづくり**を促進

4. 主な取組のスケジュール

2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
		商店街アーケード・周辺建物等へ太陽光発電・蓄電池導入						
	公共施設へ太陽光発電・蓄電池導入							
		大規模太陽光発電の整備						
		商店街等へ省エネ設備・EMS導入						
			ナッジ・エコポイント等による行動変容の促進					
			公用車等のEV化(カーシェア)					
						公共交通機関のEV化		
							湯田温泉パーク・交流センター（仮称）の温泉熱利用等	

5か年計画。今後、毎年度必要な予算を計上していく。

3 市民参画による策定体制の状況

(1) 共につくる未来懇話会（障がい福祉分野）

開催日時：令和4年10月5日(水)

対象：身体障がい、視覚障がい、聴覚障がい、オストメイト、知的障がい児の保護者などの団体代表者

テーマ等：日頃の生活の中で必要と感じるバリアフリーや安心して暮らすための仕組み等について

参加人数：8名

主な御意見（抜粋）

- 物事を決定する際に、こうした未来懇話会のようなかたちで引き続き相談をしていただきたい。私たち障がい者のことを、私たち抜きで決めないでほしい。何かを決める前には一言でいいので、問いかけをしていただきたいと思う。
- 障がいのない健常者が、障がい者を支援しようとしたときに、親切心から色々してくれるが、言い方は悪いけれど、当事者にとってずれた支援になっていることがある。当事者を巻き込んだ計画の策定をお願いしたい。
- 市中央部の市街地においても、地域交流センターに期日前投票所を設置してほしい。
- 「あいサポート運動(障がいの内容・特性や障がいのある方が困っていること、配慮の仕方や手助けの方法を知って実践する運動)」の取組を山口市でも広げていただきたいと思う。また、障がいに関する相談に応じてくれる事業所が増えるともっと住みやすい山口になると思う。
- 就労希望者が100%就労できるよう、障がい者の就労支援の充実に力を入れてほしい。
- 阿東地域や徳地地域から人工透析のために総合病院に通院するのに苦勞している状況が改善されるとよいと思う。

(2) 市民意識調査の実施

① 子育て世代アンケート ア 概要

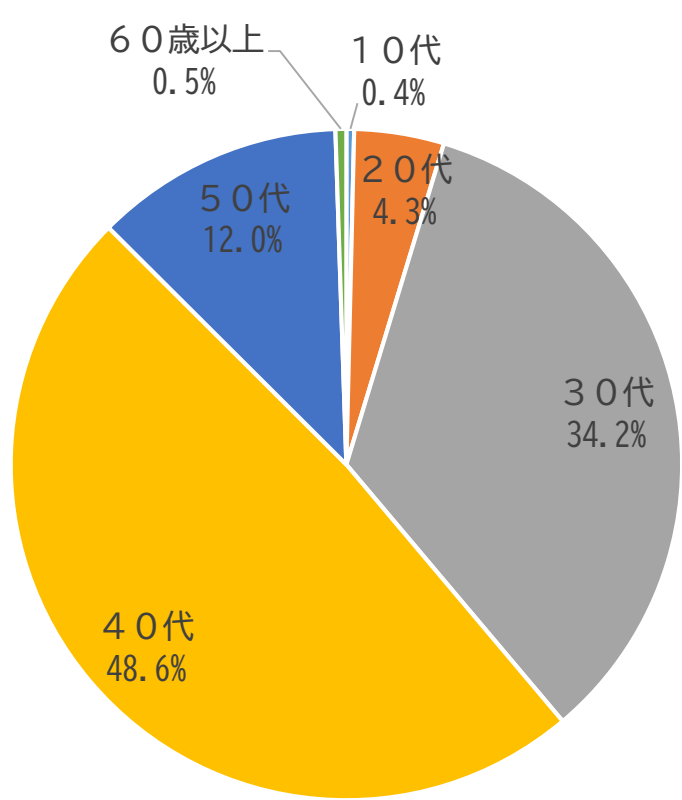
実施時期	令和4年8月31日 ~ 9月16日
対 象	18歳未満の子どもを持つ市民の方 約3,000人(無作為抽出)
実施方法	Web調査 (郵送で依頼、Webから回答)
回 答 数	1,341件
回 答 率	43.5%

子育て世代に関しては、
Web調査に特化したことで、
紙・Web併用で実施している
まちづくりアンケート(毎年度実施)よりも
回答率 **15.6**ポイント UP!
(参考：令和3年度まちづくりアンケート
18-49歳の回答率 27.9%)

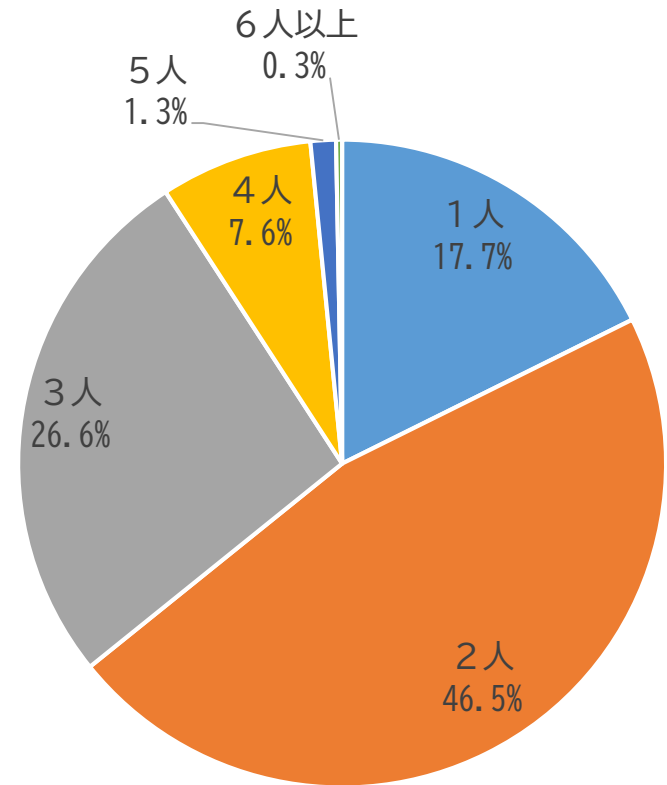
イ 集計結果（抜粋）

（問1）あなたの年齢は次のうちどちらですか。

（問2）あなたのお子さんは何人いますか。



n=1,341

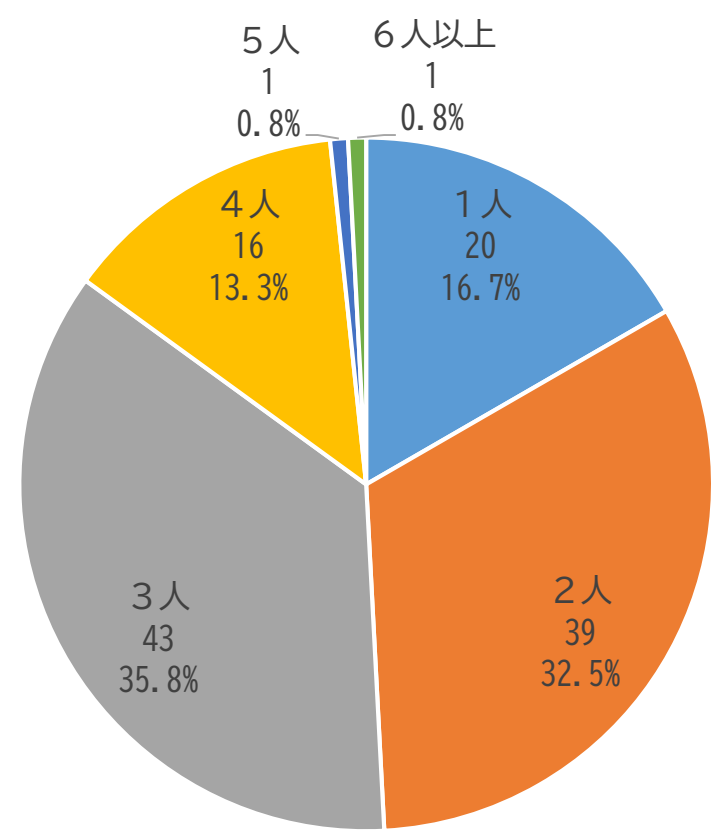


n=1,341

<参考> 居住地域と子どもの数の関係性

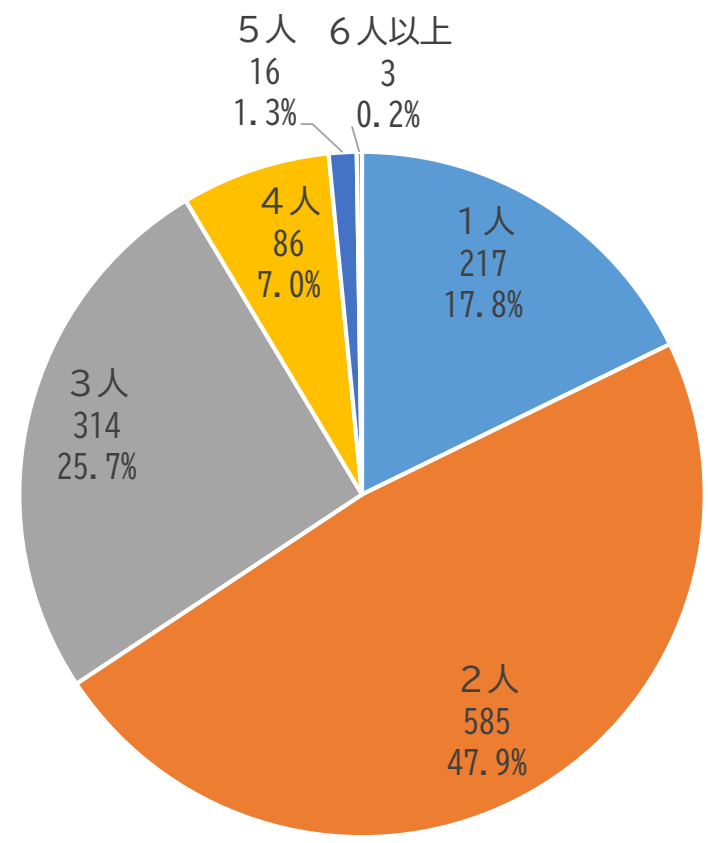
(農山村エリア)

仁保、小鯖、鑄銭司、名田島、秋穂二島、佐山、秋穂、徳地、阿東の9地域



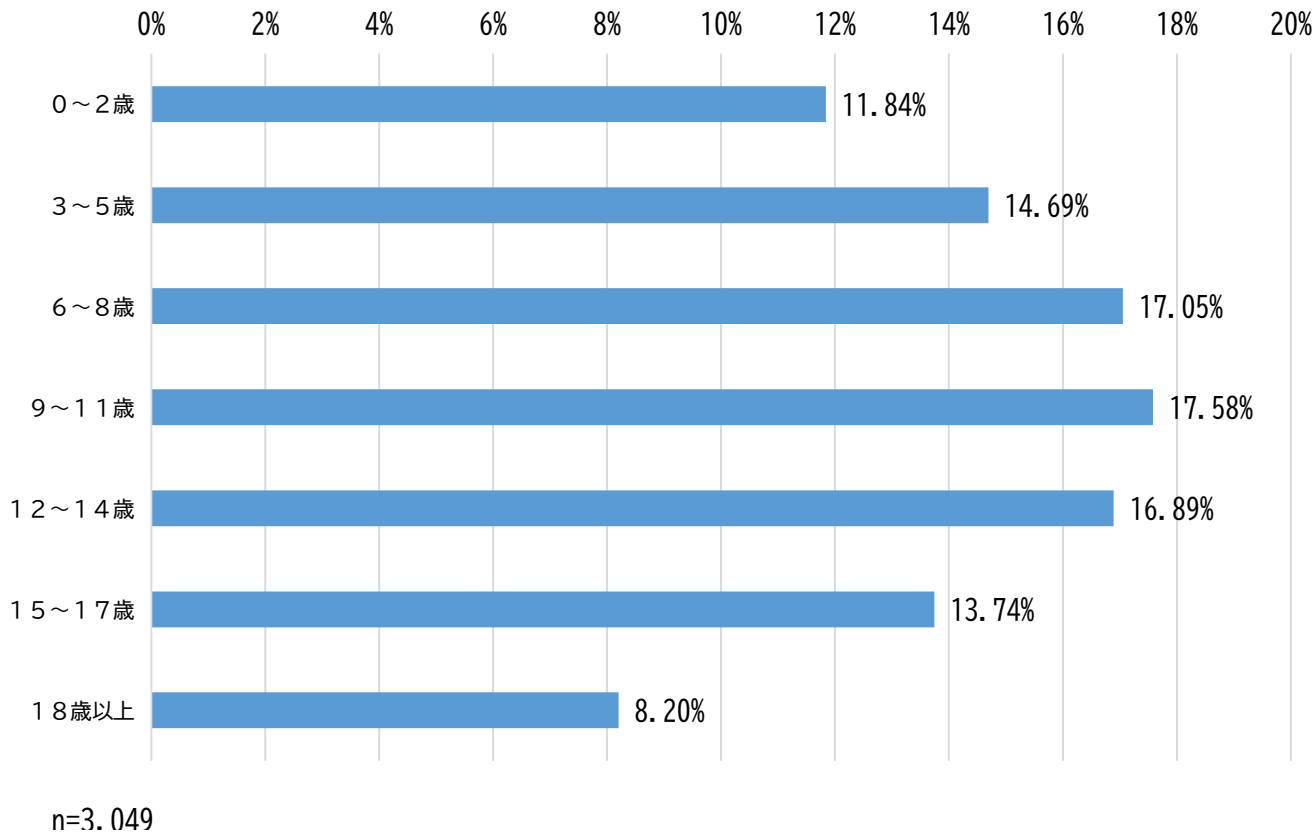
n=120

(市街地エリア)

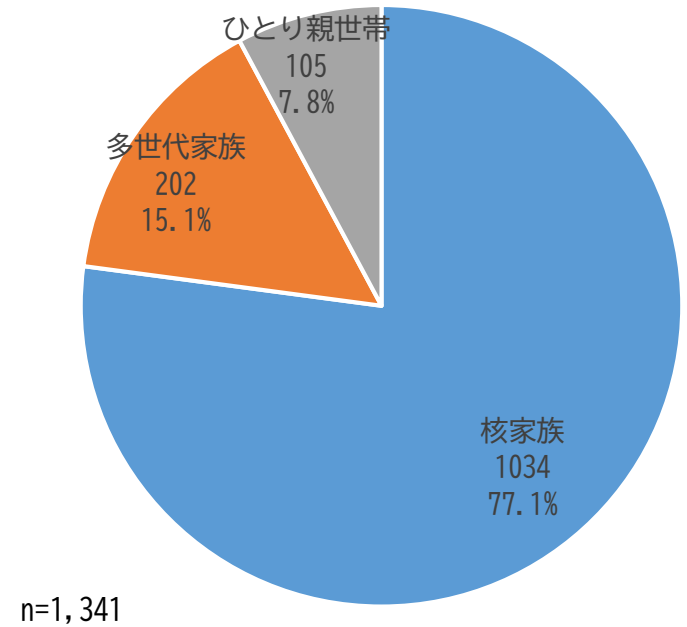


n=1,221

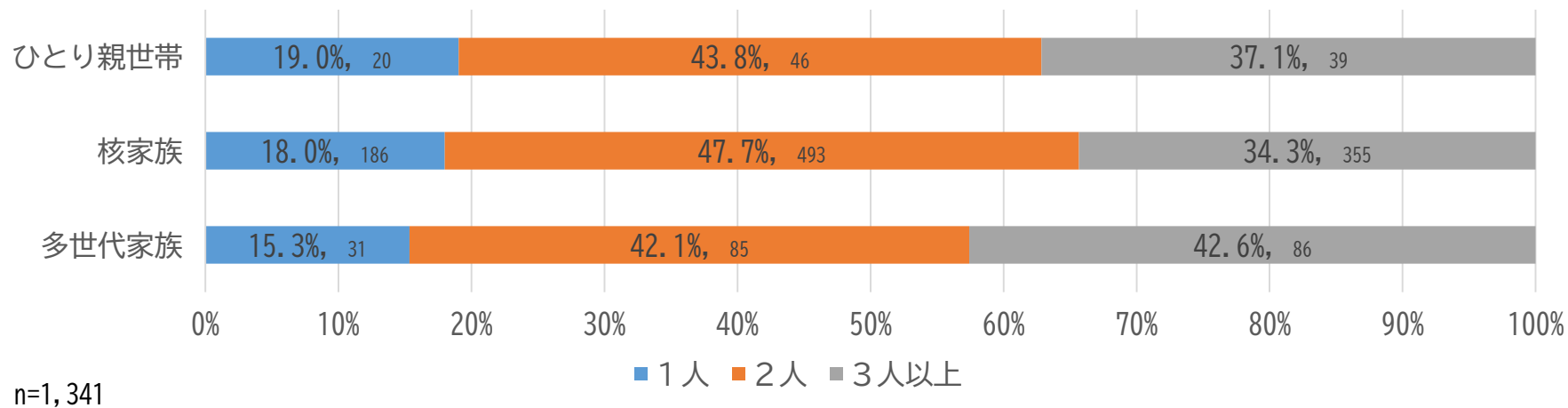
(問3) あなたのお子さんの年齢を教えてください。



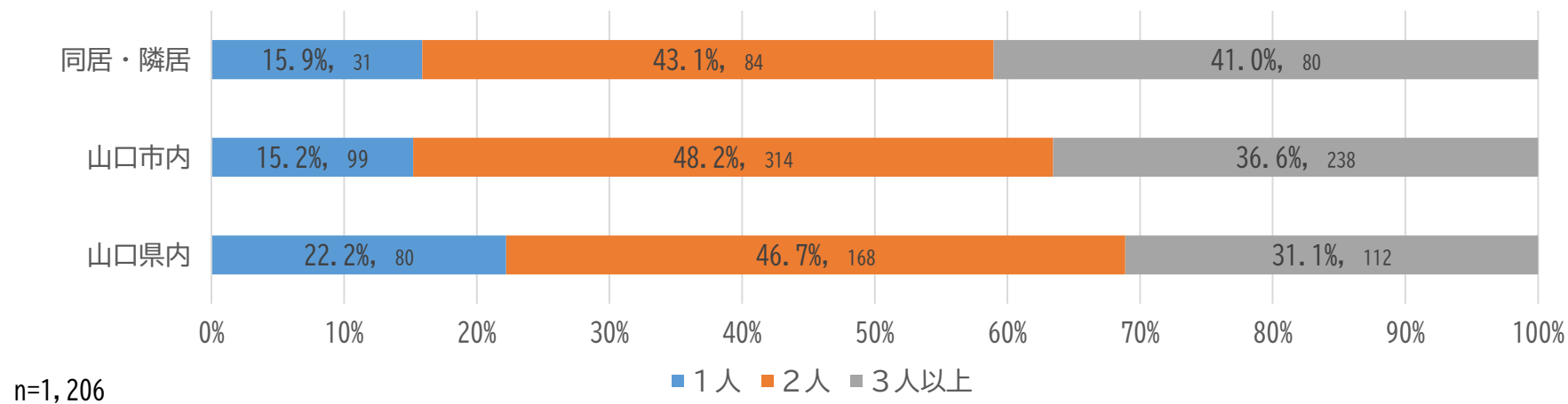
(問4) あなたが同居・隣居している方を全て選んでください。
(回答結果から3つに分類)



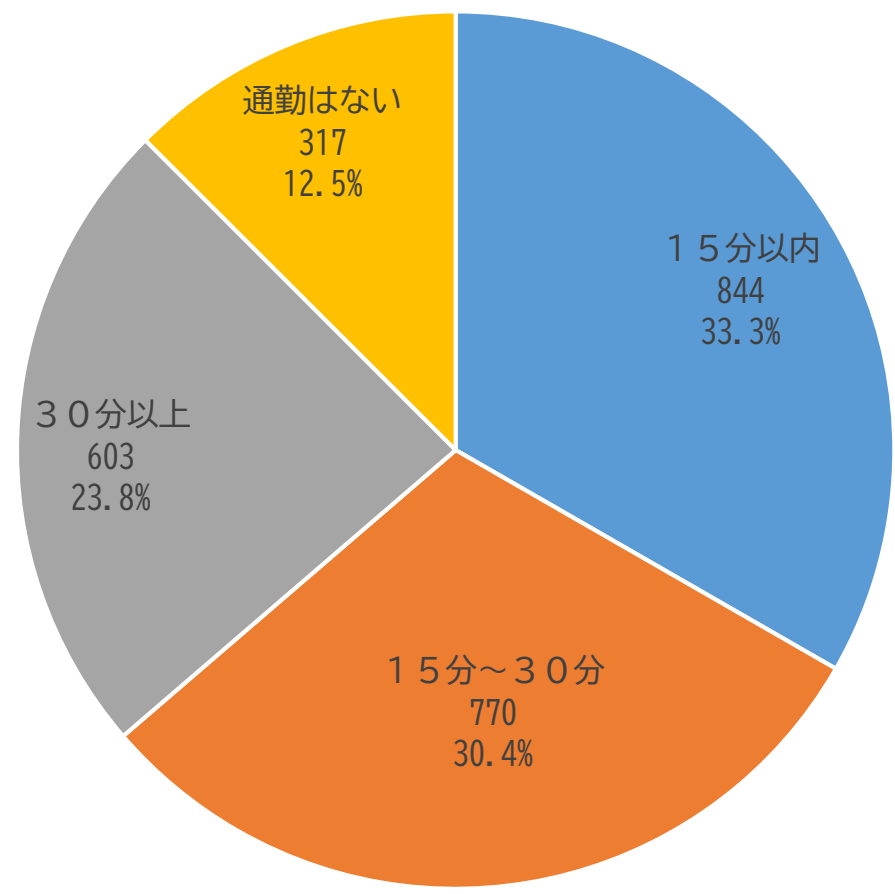
<参考> 家族構成と子どもの数の関係性



<参考> 子どもから見た祖父母の居住地と子どもの数の関係性

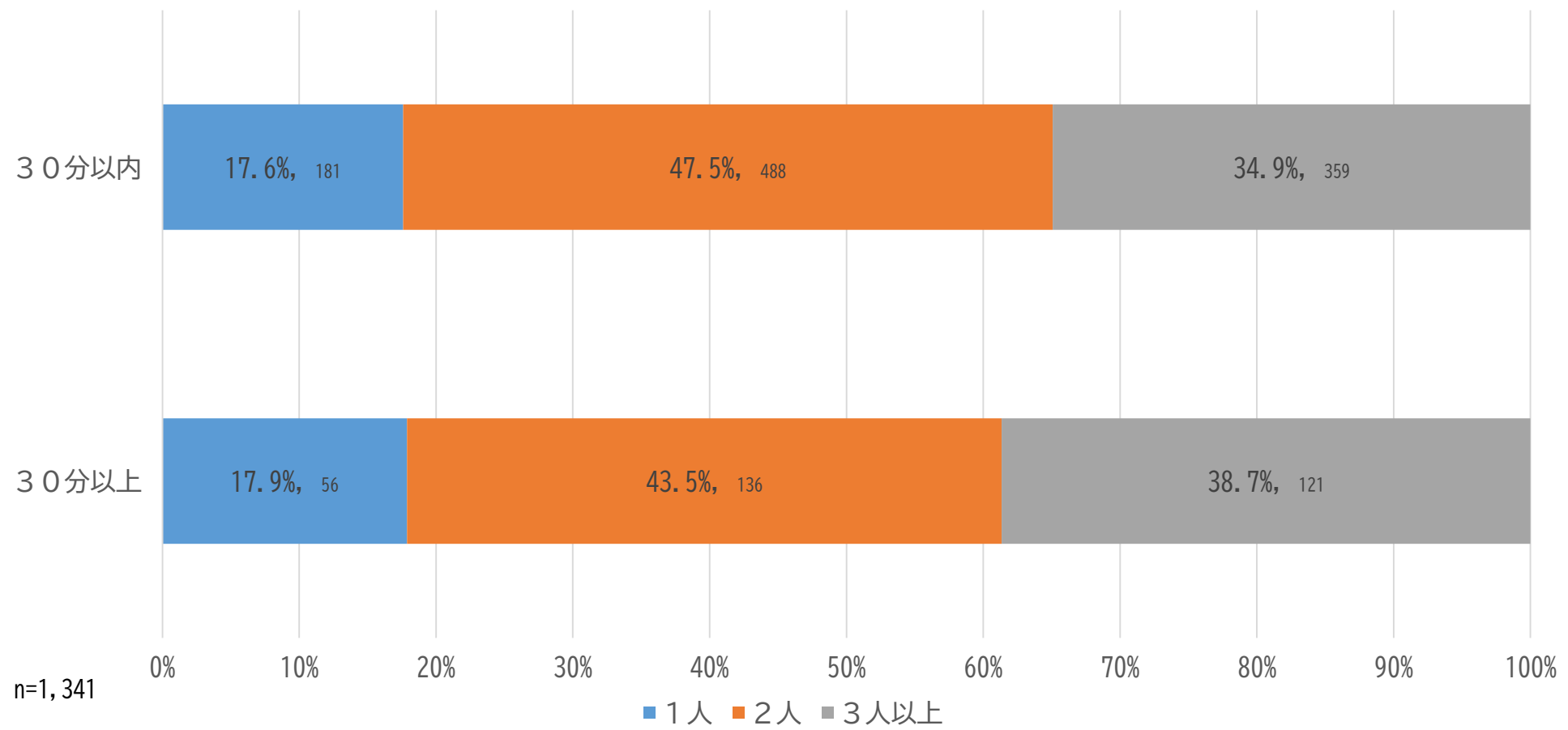


(問5) 自宅から職場までの通勤時間を教えてください。



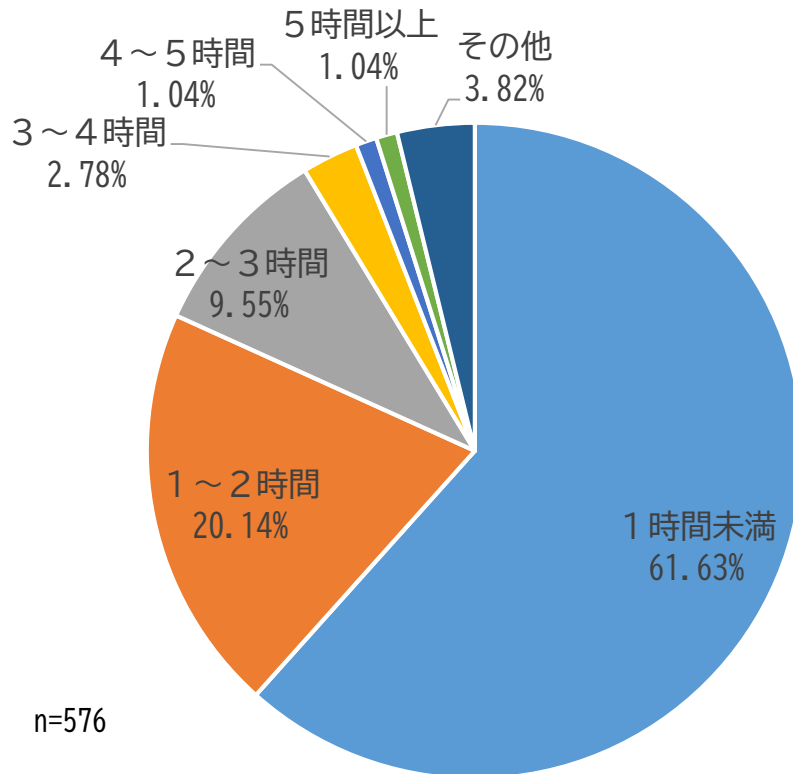
n=2,534

<参考> 通勤時間と子どもの数の関係性

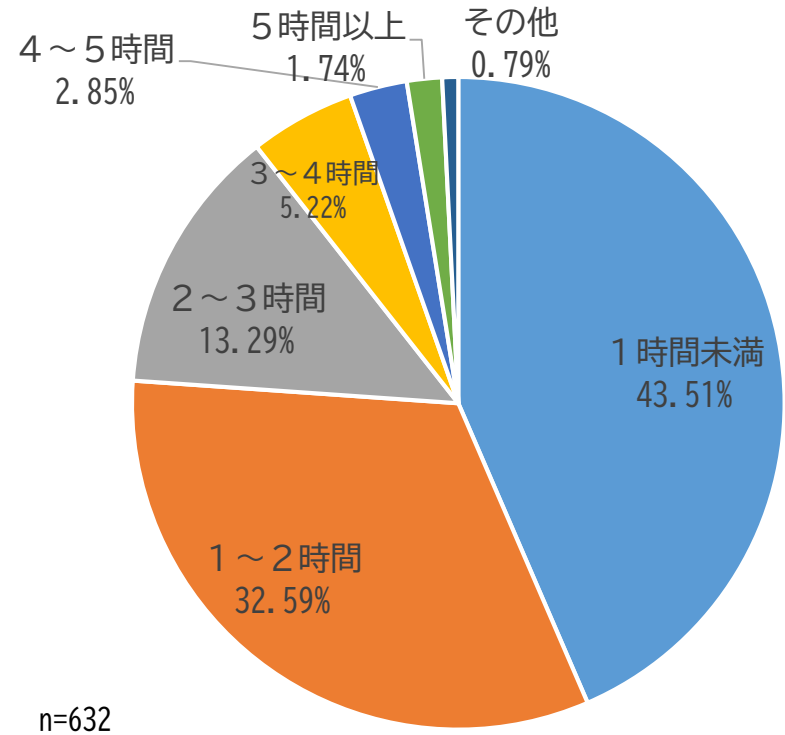


(問6) 父親の仕事がある日の家事・育児時間を教えてください。

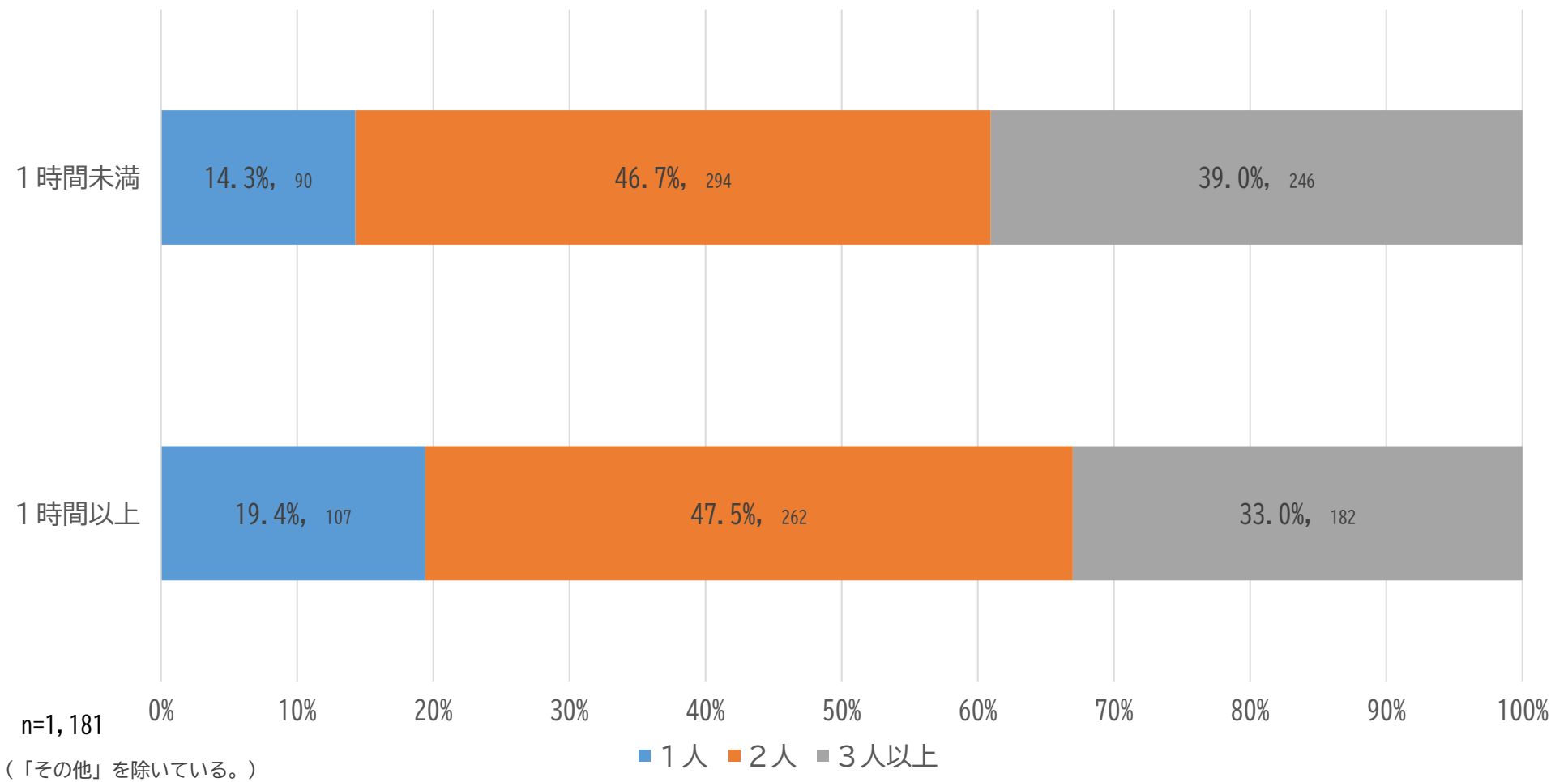
(母親から見た父親の育児時間)



(父親が思う自分の育児時間)

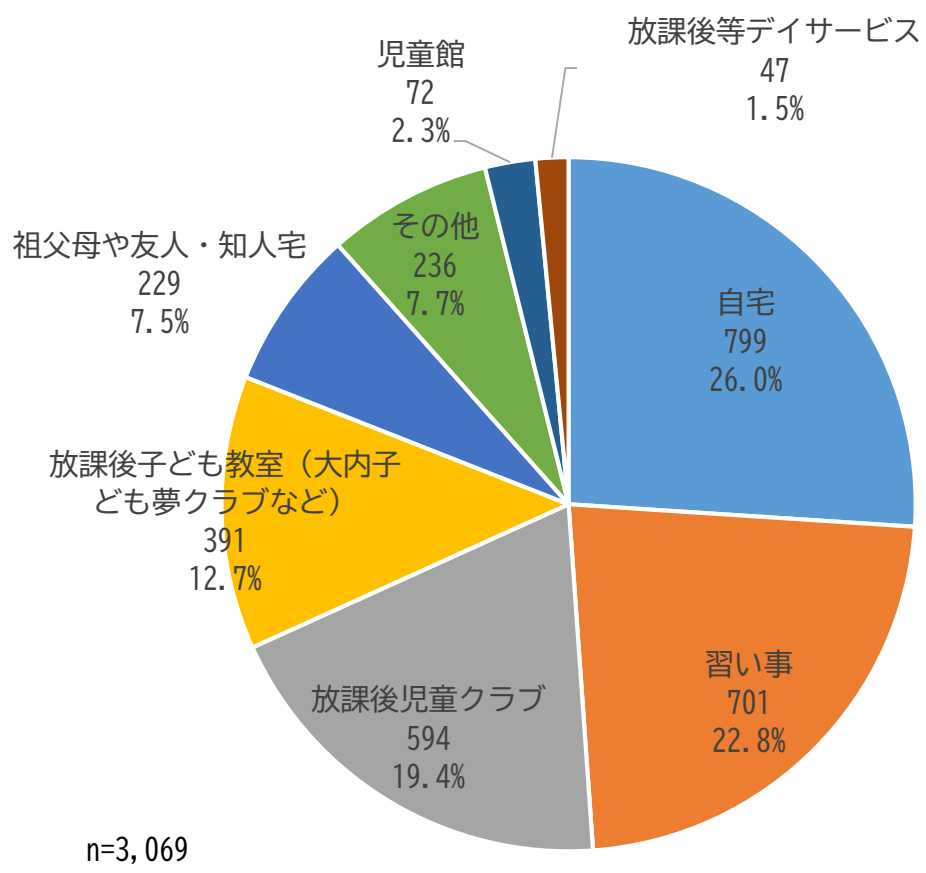


<参考>子どもの数と父親の家事・育児時間の関係性

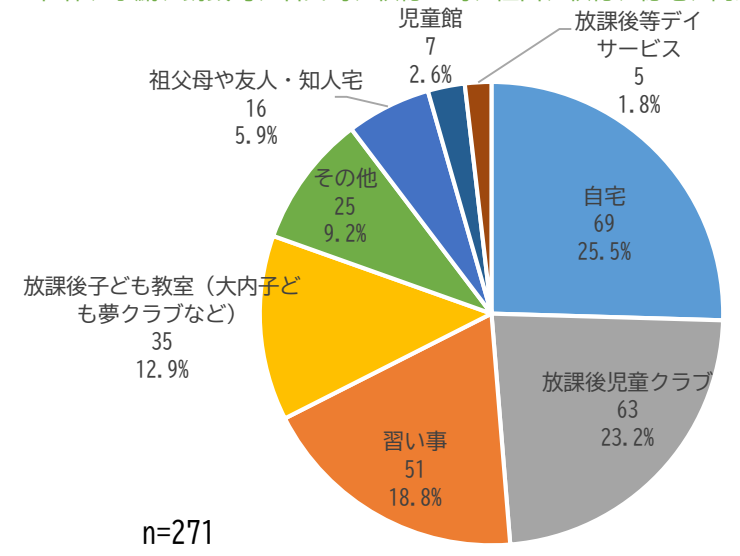


子どもの数と父親の家事・育児時間の関係性には、有意な差は見られなかった。

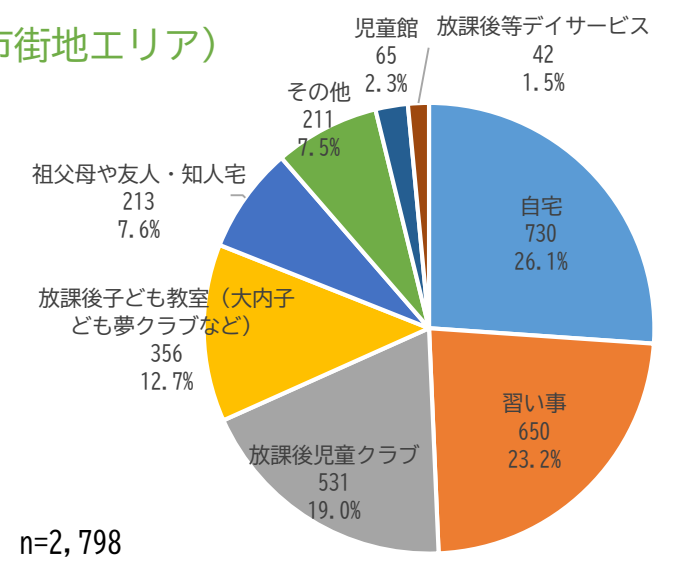
(問7) あなたは、小学生のお子さんを放課後どのような場所や施設で過ごさせたいと思いますか。
(最大3つまで)



(農山村エリア)
仁保、小鯖、鑄銭司、名田島、秋穂二島、佐山、秋穂、徳地、阿東の9地域



(市街地エリア)



ウ お子さんを連れて安心して過ごせるおすすめスポットランキング (自由記入)

市内編

順位	おすすめスポット	得票数
1	維新公園	329
2	中央公園	230
3	山口きらら博記念公園	164
4	児童館・児童センター	71
5	亀山公園	60
6	河原谷公園	50
7	ゆめタウン	39
8	藤尾山公園	26
9	船方農場	11
10	KID's US.LAND (フジグラン内の子供の室内遊園地)	10
10	みほり峠	10
10	てとてと	10

県内編 (山口市を除く)

順位	おすすめスポット	所在地	得票数
1	ときわ公園	宇部市	61
2	徳山動物園	周南市	35
3	<small>秋吉台自然動物公園</small> サファリランド	美祢市	30
4	ふくふくこども館	下関市	24
4	メバル公園	防府市	24
6	海響館	下関市	22
7	長門おもちゃ美術館	長門市	14
8	キッズパークCotton	下松市	10
9	イオンタウン防府	防府市	9
10	あそぼ一舎	萩市	5

エ 自由記入における主な意見

【情報発信に関する意見】

- 親同士のコミュニケーションや気軽に情報共有・相談ができる場(オンラインでの交流ページ、SNSグループなども含む)がほしい。すでにあるのであれば、その情報がほしい。
- 市内や県内のいろいろな公園がまとめて紹介されたマップがあればいいなと思う。
- 小さな子どもを連れて遊べる場所や、親子や家族で参加できて一緒に楽しめるイベントがもっとたくさんあれば嬉しい。また、そうした場所やイベント情報がわかりやすくまとめられたWebサイト等があれば嬉しい。
- 山口市以外のイベントも知りたいので、「ここを見れば山口県内の子育て関連のイベントを全部網羅できる」というWebサイトがあると嬉しい。
- 市が子育てに関してどのようなサポートをされているのかももっと知りたいので、情報発信を幅広くしていただきたい。
- 市内の施設やお店における、授乳スペースやおむつ替えスペースがあるかなどの情報がわかるWebサイト等があればいいなと思う。

など

【道路、交通、子どもの遊び場等に関する意見】

- 山口市中心商店街のアーケードは、日中は車両通行止めであるため、未就学児でも安心して散歩させられる環境であり大変助かっている。この環境は維持していただきたい。
- 駅通りから市役所に向かう道には、地上に信号付き横断歩道がなく、地下道を通らなければならない箇所があり、ベビーカーや子どもを乗せた自転車での移動において非常に不便である。地上での移動で完結できるようにしていただくと助かる。
- ベビーカーでも安心して歩ける歩道の整備や、安全な通学路の確保に向けた整備をお願いしたい。
- 車がないと子どもの習い事なども制限されるので、徒歩や自転車でも快適に過ごせるまちにしてほしい。
- 車を使わずとも子育てがしやすくなるように、バスや電車の本数を増やしてほしい。
- 家族で過ごせるような大型商業施設や、子どもが遊べる室内スペース、ショッピング、フードコート、病院などが揃った都市型の総合商業施設がほしい。
- 子どもが安心して遊べる場所を増やしてほしい(プレイパーク、アスレチック、公園、雨天時や真夏日でも遊べる屋内施設など)。
- 公園などに授乳室やおむつ替えシートを増やしてほしい。特に、おむつ替えシートについては、父親も利用な形が望ましい。
- 子どもがまだ0歳なので、飲食店に行っても子どもを寝かせるところが少なく行きにくい。個室や、子供を寝かせられる座敷がもっとあると嬉しい。

など

【一時預かりや保育園等に関する意見】

- 買い物などの1～2時間程度の間だけ子どもを一時的に預けられる場所がほしい。
- 夏休みなどの長期休暇に子どもを預けやすいところがあればいいと思う。平日の夕方からなら、祖父母の家に預けたり留守番させたりできるが、夏休みなど、一日中預けることはできず、困っている。
- 放課後児童クラブに小学生高学年も通えるようにしてほしい。
- 山口市での子育てには概ね満足しているが、病児保育を更に充実していただけると、働きながらの子育てがもっとしやすくなるのではないかと思う。
- 保育園が入りにくい。他市のように事前予約ができたり、兄弟が一緒になるよう配慮してほしい。
- 徳地地域にも幼稚園を作ってほしい。徳地にも保育園はあるものの、専業主婦であるため入れることができず、防府市内の幼稚園に入れている。せっかく徳地で子育てしているのにと思っている。

など

【経済的な負担軽減に関する意見】

- ミルクやおむつ、習い事にかかる費用への支援など、子育てに関する金銭面での支援がほしい。
- 第二子以降保育料無料など、多子世帯への支援がほしい。子育てにかかる費用がネックとなり第二子以降の出産を諦める人も多いのではないかと感じる。たくさん子どもがいる家庭は普通に生活するだけでもお金もかかるので、ちょっとしたことでかなり助かると思う。
- 高校生の子育てのしやすさにも配慮してほしい。
- 子どもの医療費について、無償化が進んできたことがとてもありがたい。子供を産んで育てることはとても大変であるが、支えられていると感じている。児童手当がなくなり教育費の負担が大きくなる高校(18歳)まで無償化を拡大していただくとさらにありがたい。
- 共働きでも安心して子育てができるように、共働き家庭への支援がほしい。共働きは、専業主婦家庭に比べて、家庭学習や習い事がしづらく、学力に差が生まれにくい不安を感じている。
- 出産お祝い品やお祝い金があれば嬉しい。
- 小学校入学前における事前準備金等の給付や、小学校入学時における、傘や防犯ブザー、通学帽子、ランドセル等の支給があったら嬉しい。
- 保育園の保育料について、収入に関係なく無料にしてほしい。
- 市内施設の利用における、子育て世帯への利用料割引があればいいなと思う。

など

② 大学生意識調査 ア 概要

実施時期 令和4年10月5日 ~ 10月21日

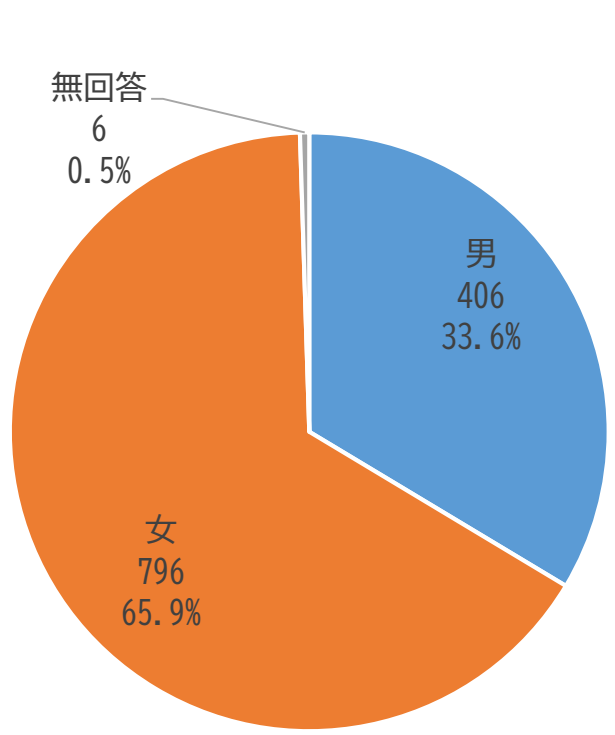
対 象 山口大学、山口大学大学院、山口県立大学、山口県立大学大学院、山口学芸大学、山口学芸大学大学院、山口芸術短期大学に通う学生
約11,000人

実施方法 Web調査（メール等により依頼、Webから回答）

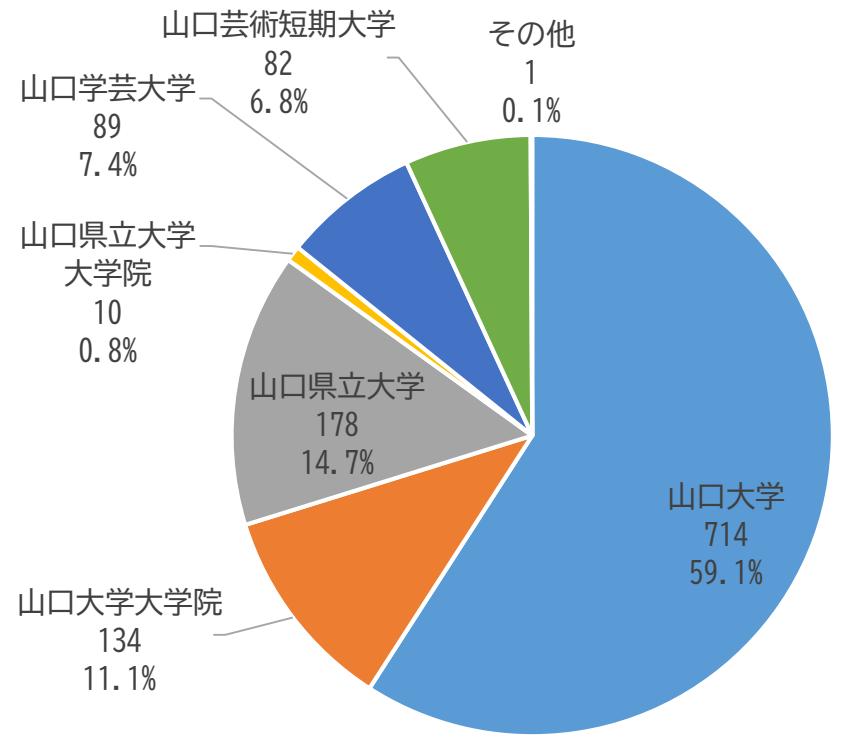
回答数 1,208件

イ 集計結果（抜粋）

（問1）あなたの性別は次のうちどちらですか。 （問2）あなたの通っている大学は次のうちどちらですか。

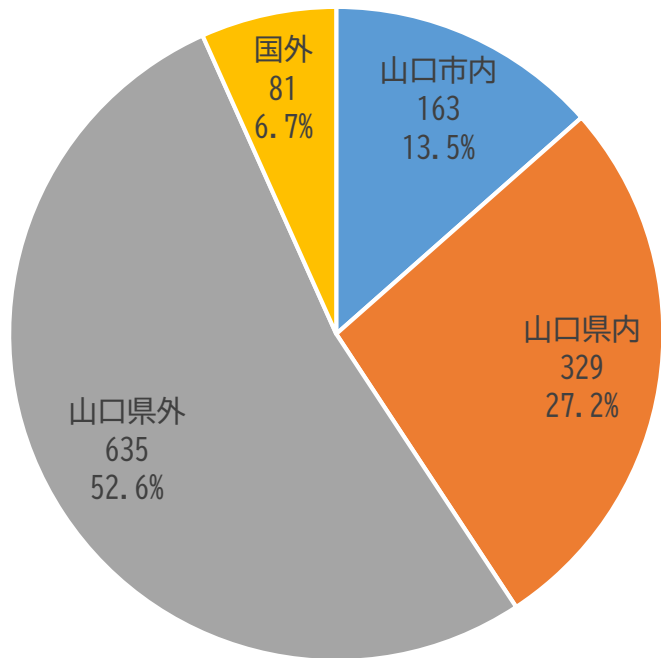


n=1,208



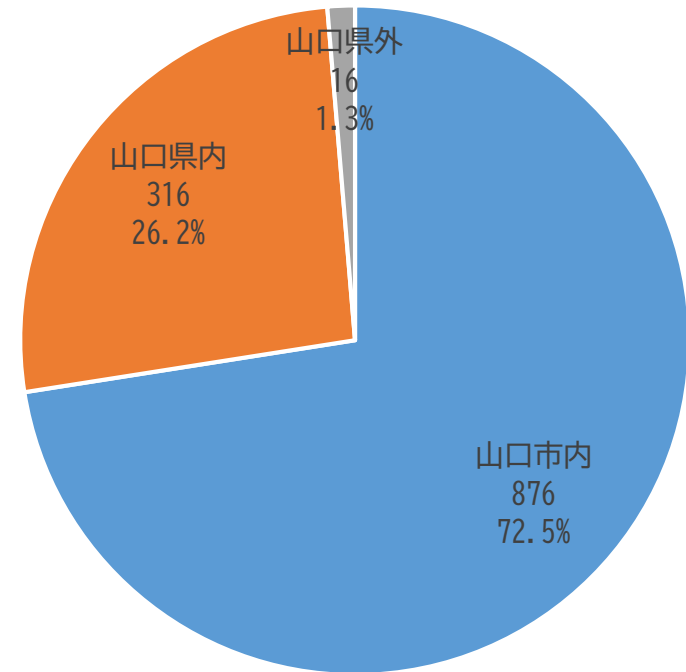
n=1,208

(問3) あなたの大学進学直前（高校時等）のお住まいは次のうちどちらですか。



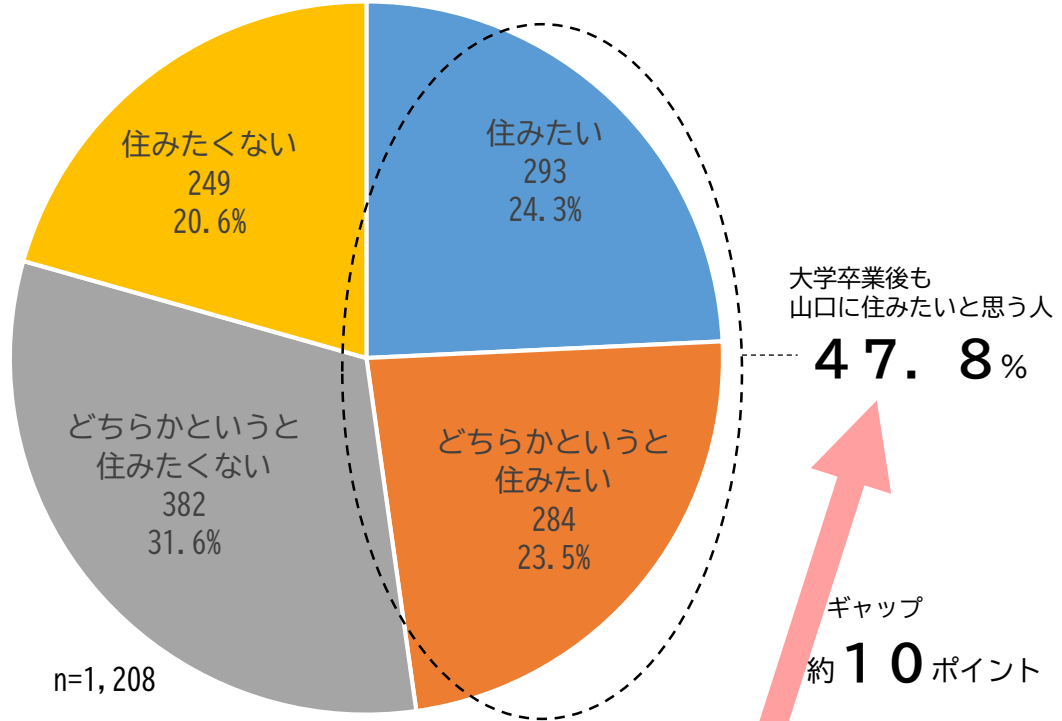
n=1,208

(問4) あなたの現在のお住まいは次のうちどちらですか。

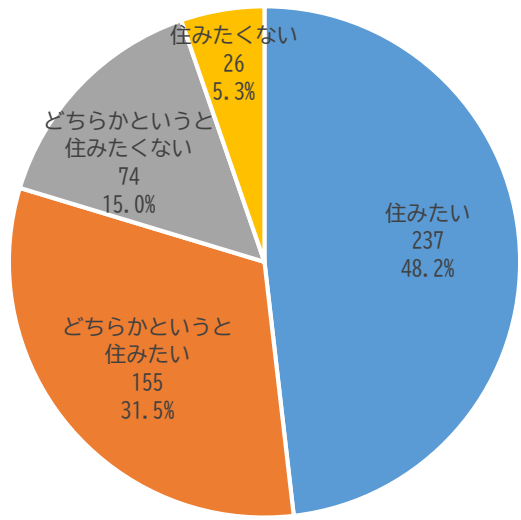


n=1,208

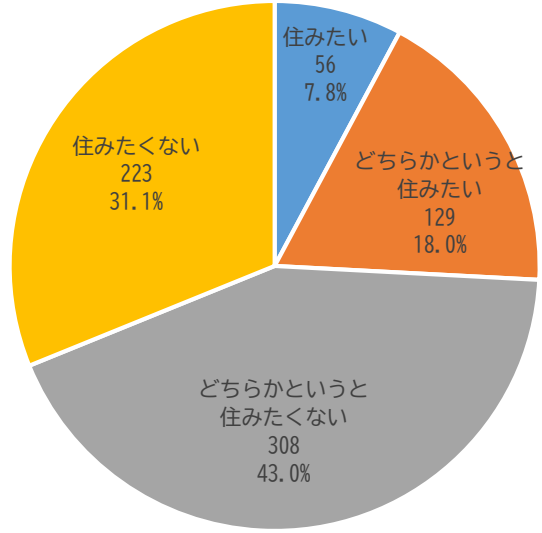
(問5) あなたは、大学卒業後に山口市や山口県に住みたいと思いますか。



(山口県内出身)



(山口県外出身)



<参考>

山口大学、山口県立大学、山口学芸大学、山口芸術短期大学の
山口県内就職率 (※) : **38.4%**

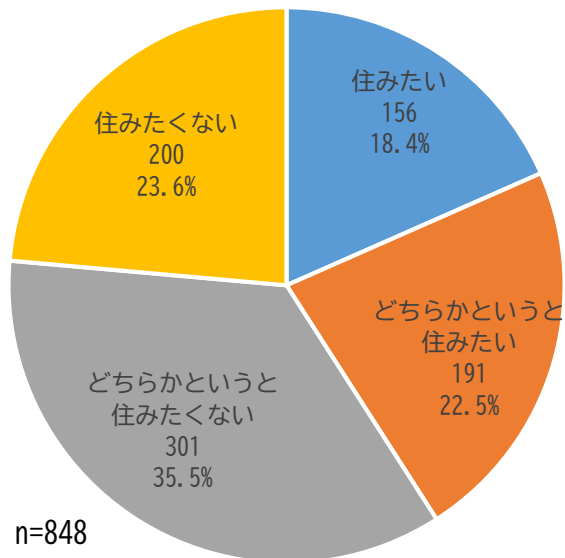
(※) 卒業生(就職内定者)のうち県内就職内定者の割合 (令和4年3月末時点)

大学卒業後も山口に住みたいと思う人は約50%いる中、
 県内就職率は約40%であり、約10ポイントの差がある。

いかに10ポイントの差を埋めていくかが重要

<参考> 大学別、卒業後の山口居住希望と県内就職率の比較

山口大学



大学卒業後も
山口に住みたいと思う人

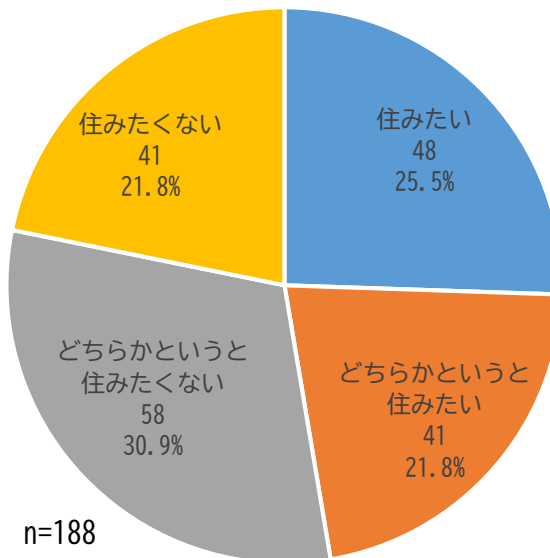
40.9%

ギャップ
13.2ポイント

山口県内就職率

27.7%

山口県立大学



大学卒業後も
山口に住みたいと思う人

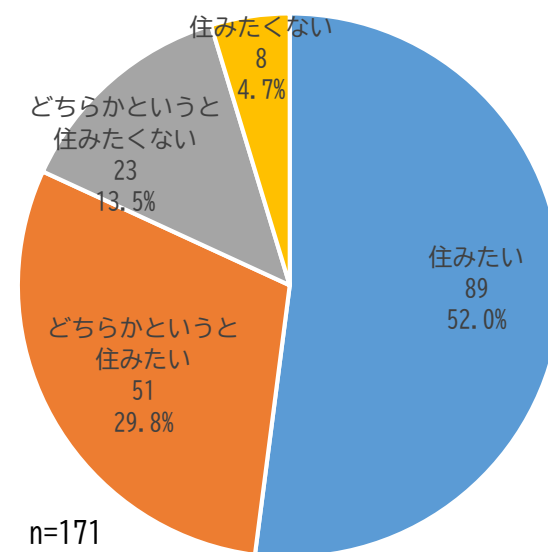
47.3%

ギャップ
4.6ポイント

山口県内就職率

42.7%

山口学芸大学



大学卒業後も
山口に住みたいと思う人

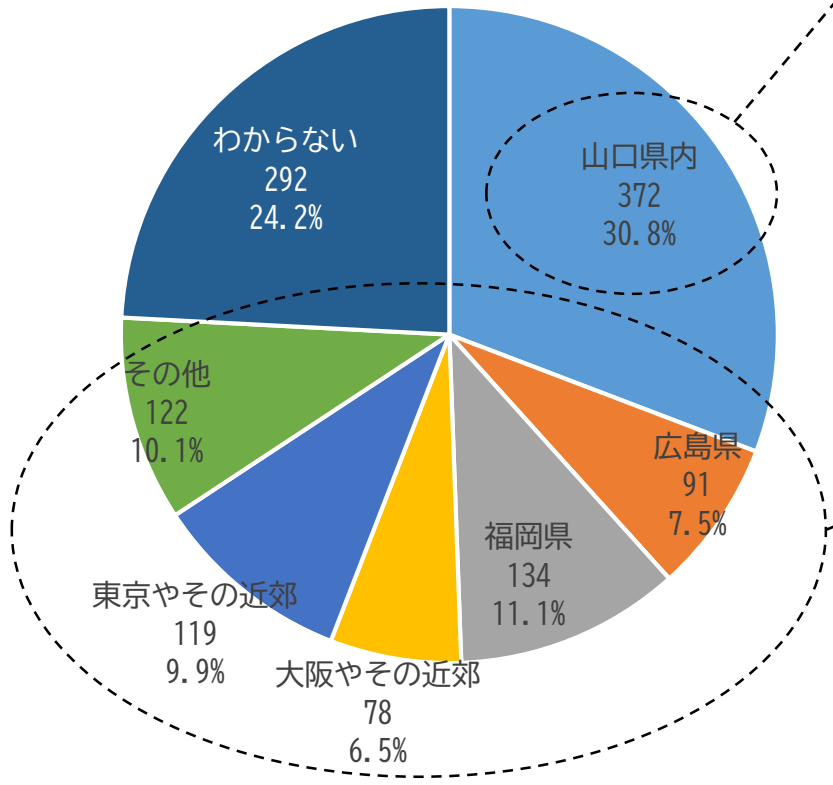
81.8%

ギャップ
-9.3ポイント

山口県内就職率

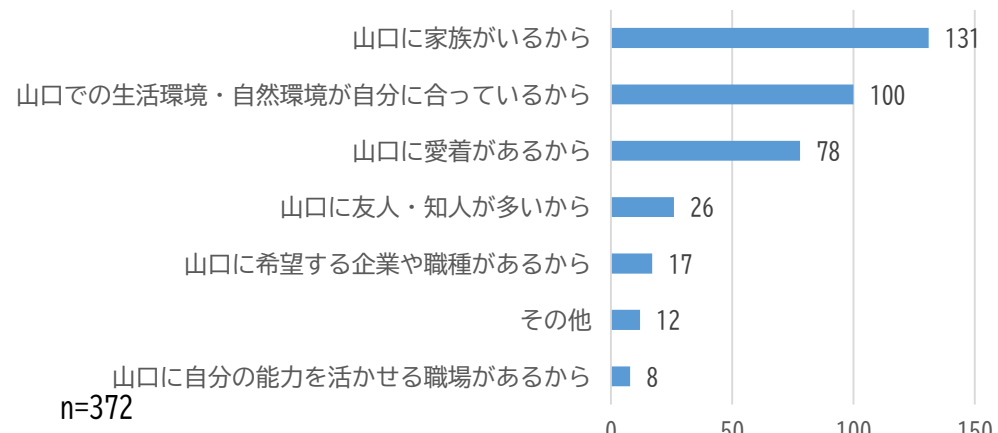
91.1%

(問6) あなたが就職したいと思う地域はどこですか。



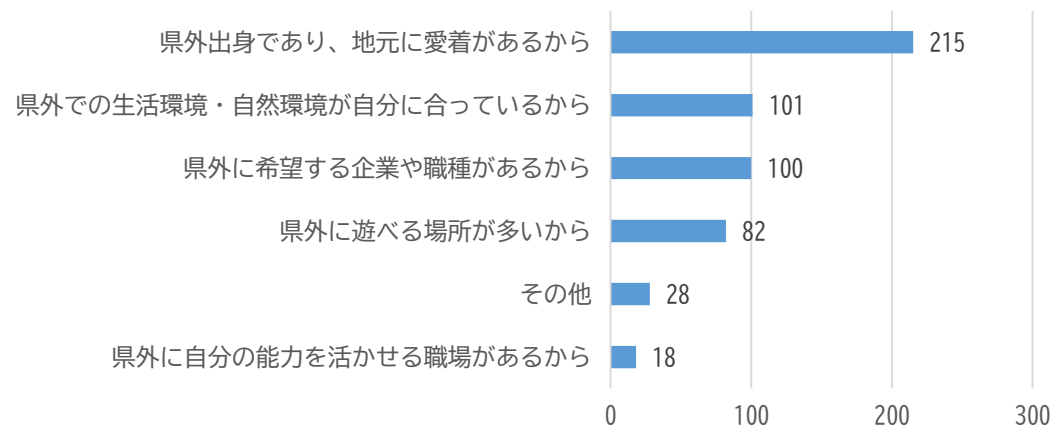
n=1,208

(問7-1) あなたが山口県内に就職したいと思う理由は何ですか。



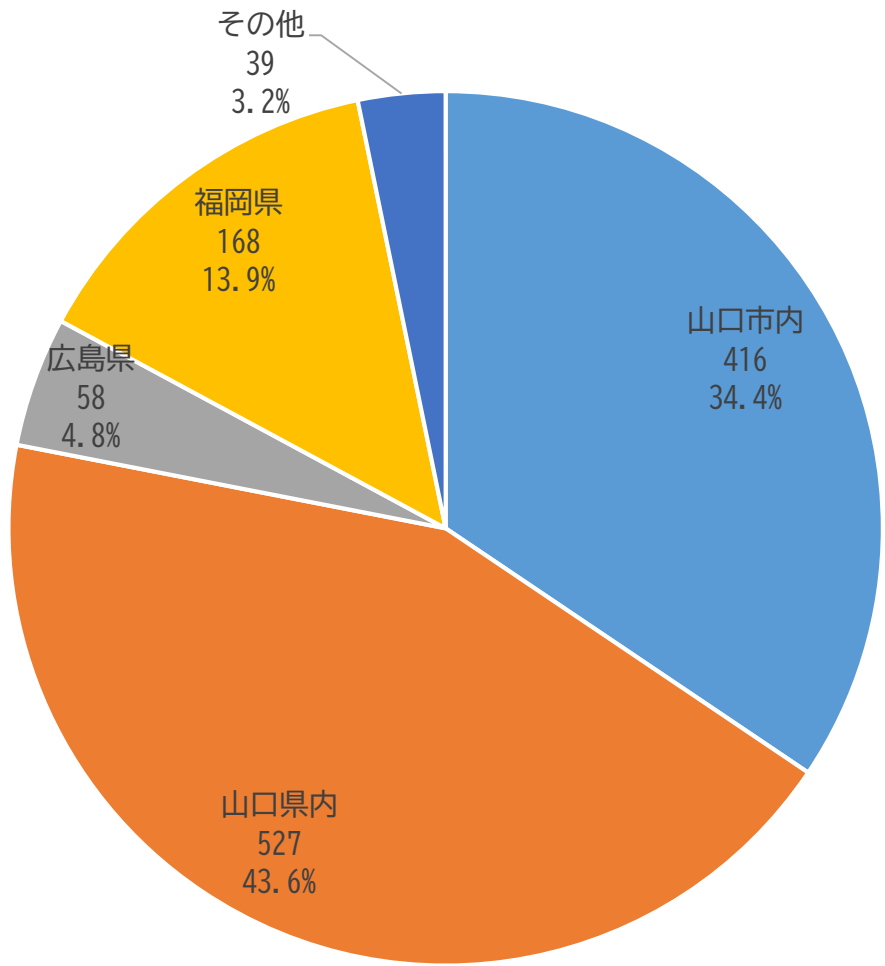
n=372

(問7-2) あなたが山口県外に就職したいと思う理由は何ですか。



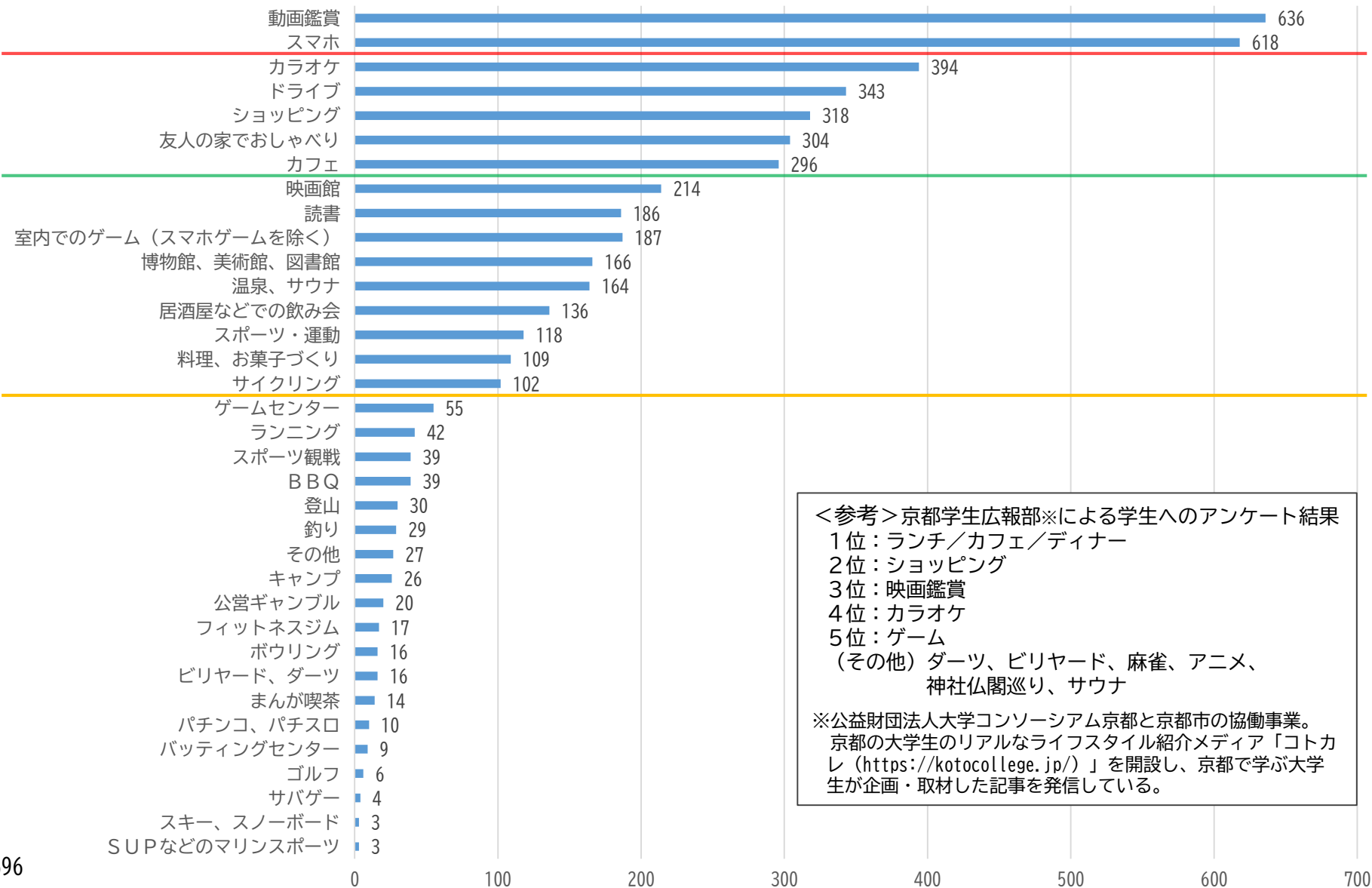
n=544

(問8) あなたが休日、よく遊びに行く場所はどこですか。



n=1,208

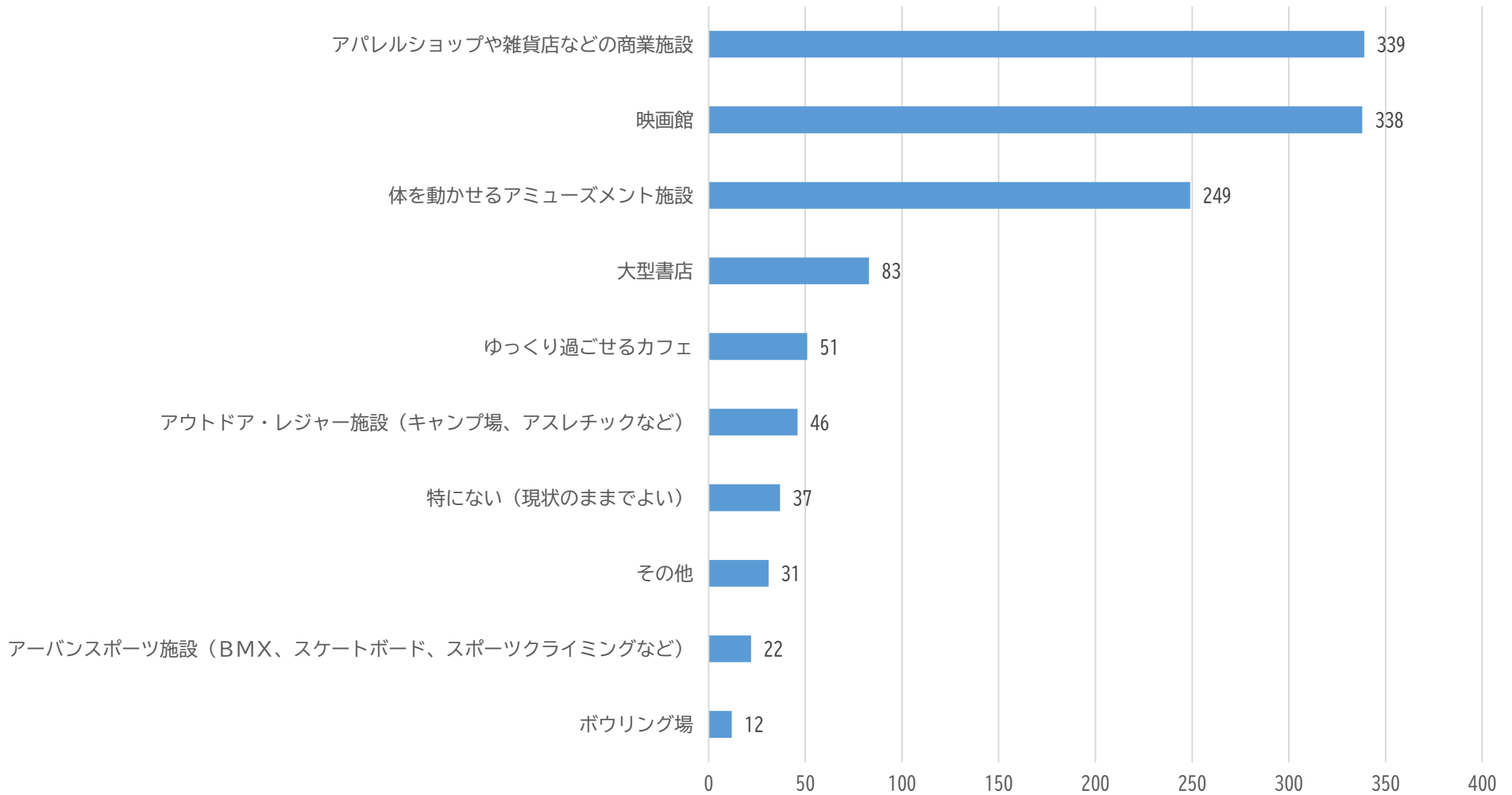
(問9) あなたは、山口県内でどのように余暇（暇なとき）を過ごすことが多いですか。



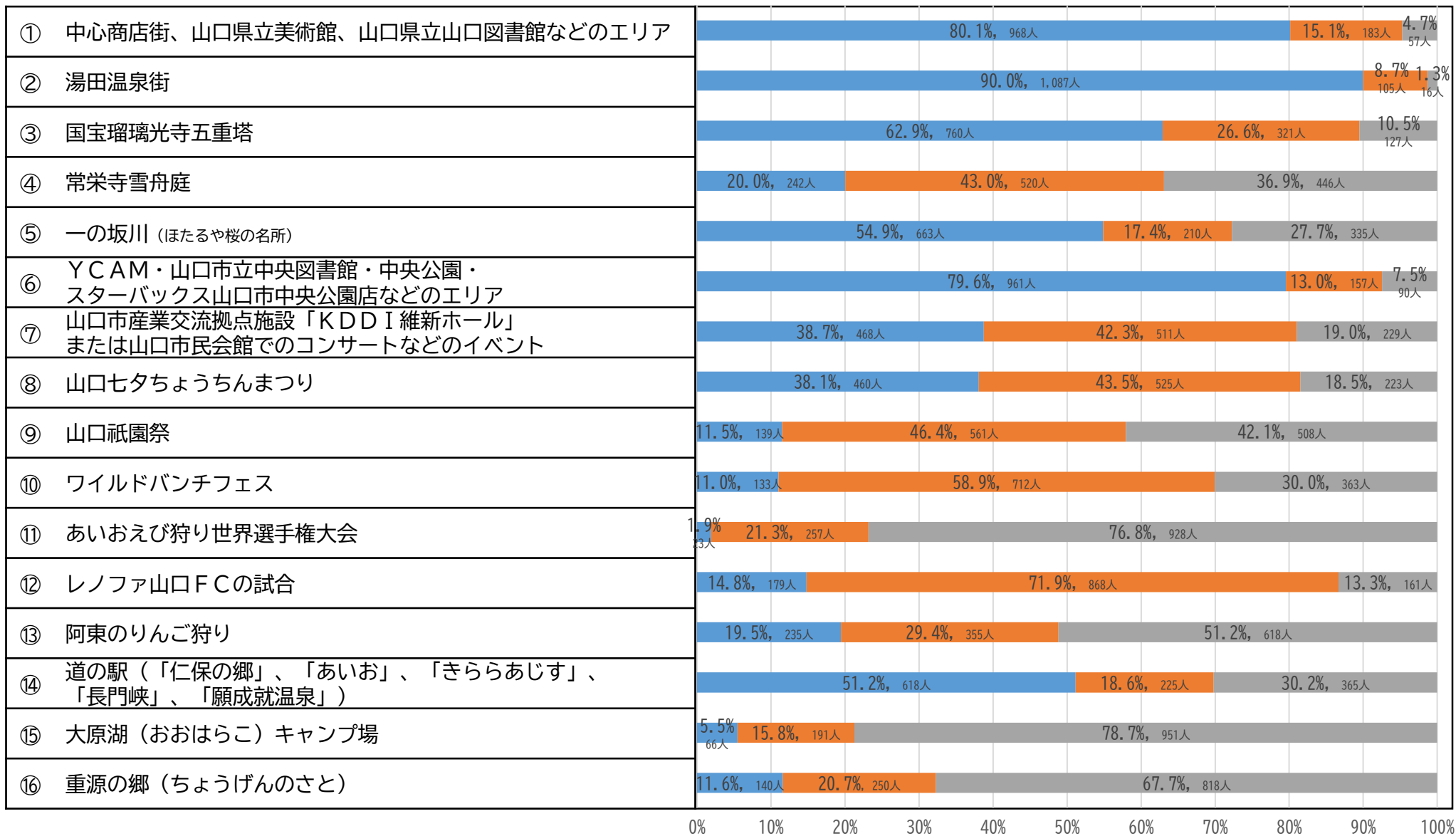
<参考> 京都学生広報部※による学生へのアンケート結果
 1位：ランチ／カフェ／ディナー
 2位：ショッピング
 3位：映画鑑賞
 4位：カラオケ
 5位：ゲーム
 （その他）ダーツ、ビリヤード、麻雀、アニメ、
 神社仏閣巡り、サウナ

※公益財団法人大学コンソーシアム京都と京都市の協働事業。
 京都の大学生のリアルなライフスタイル紹介メディア「コトカレ（<https://kotocollege.jp/>）」を開設し、京都で学ぶ大学生が企画・取材した記事を発信している。

(問10) あなたが、山口にもっとあればいいと思う遊び・余暇機能や施設は何ですか。



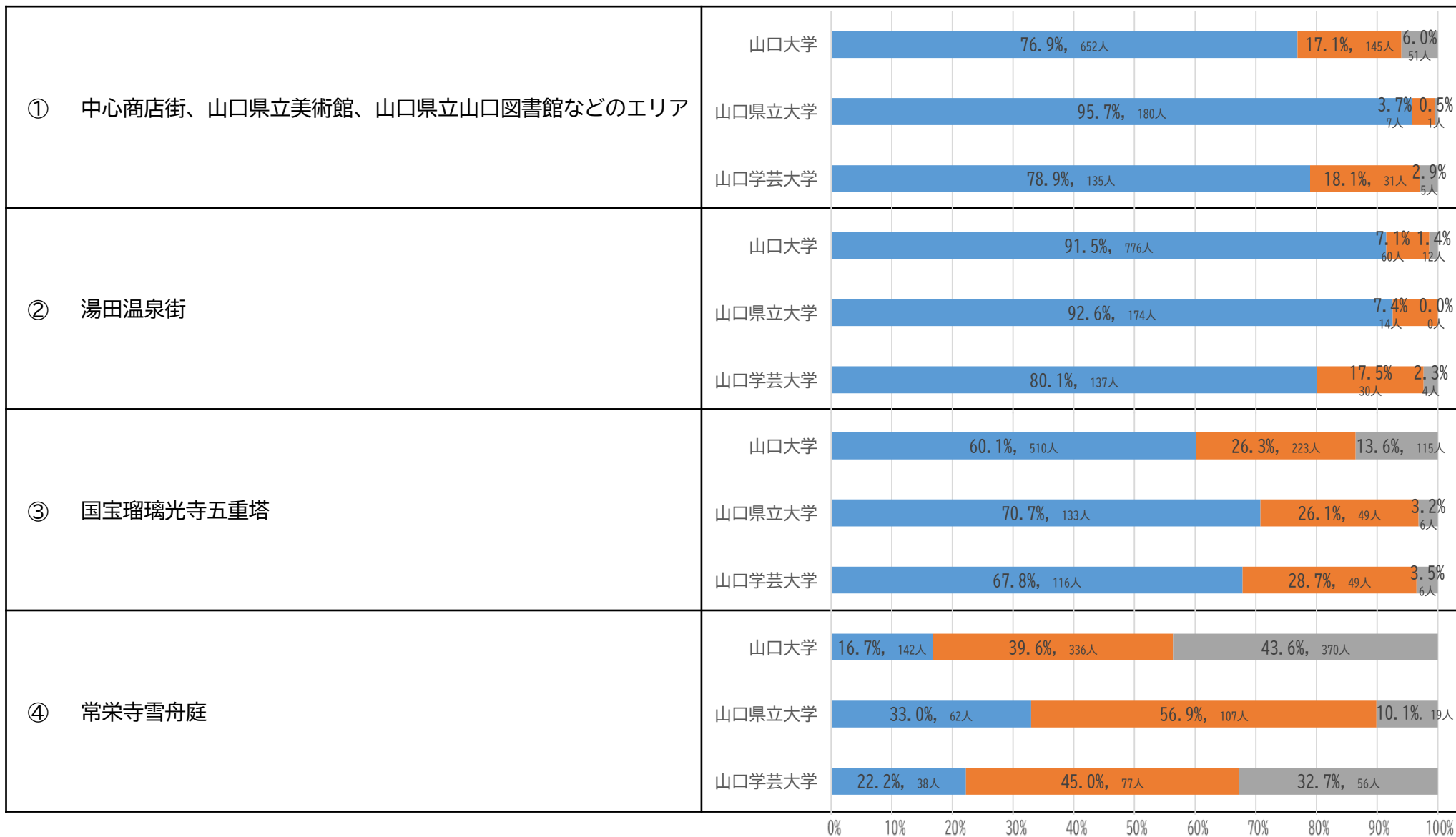
(問11) あなたは、以下の山口市内の場所や施設に行ったことがありますか。

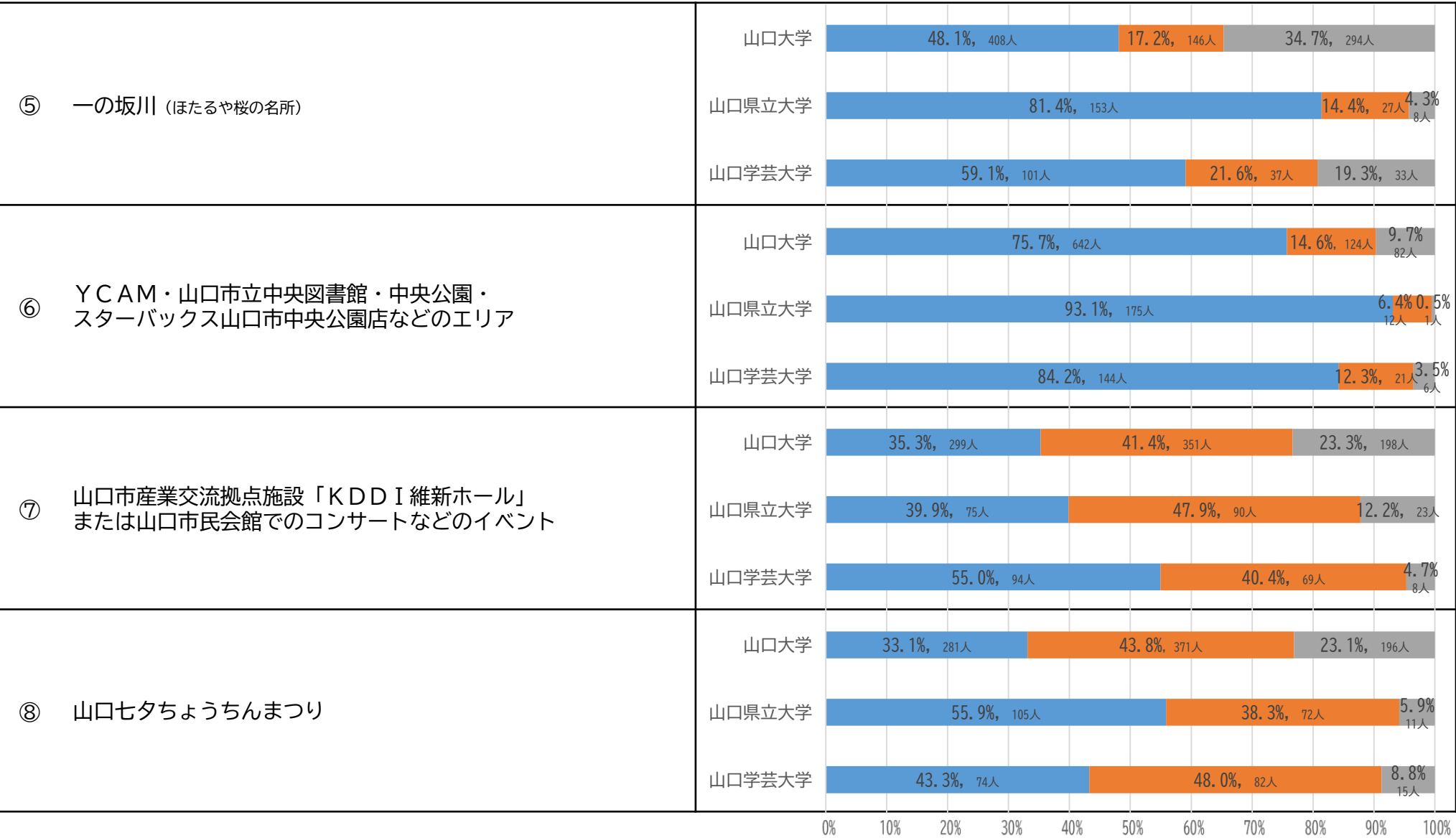


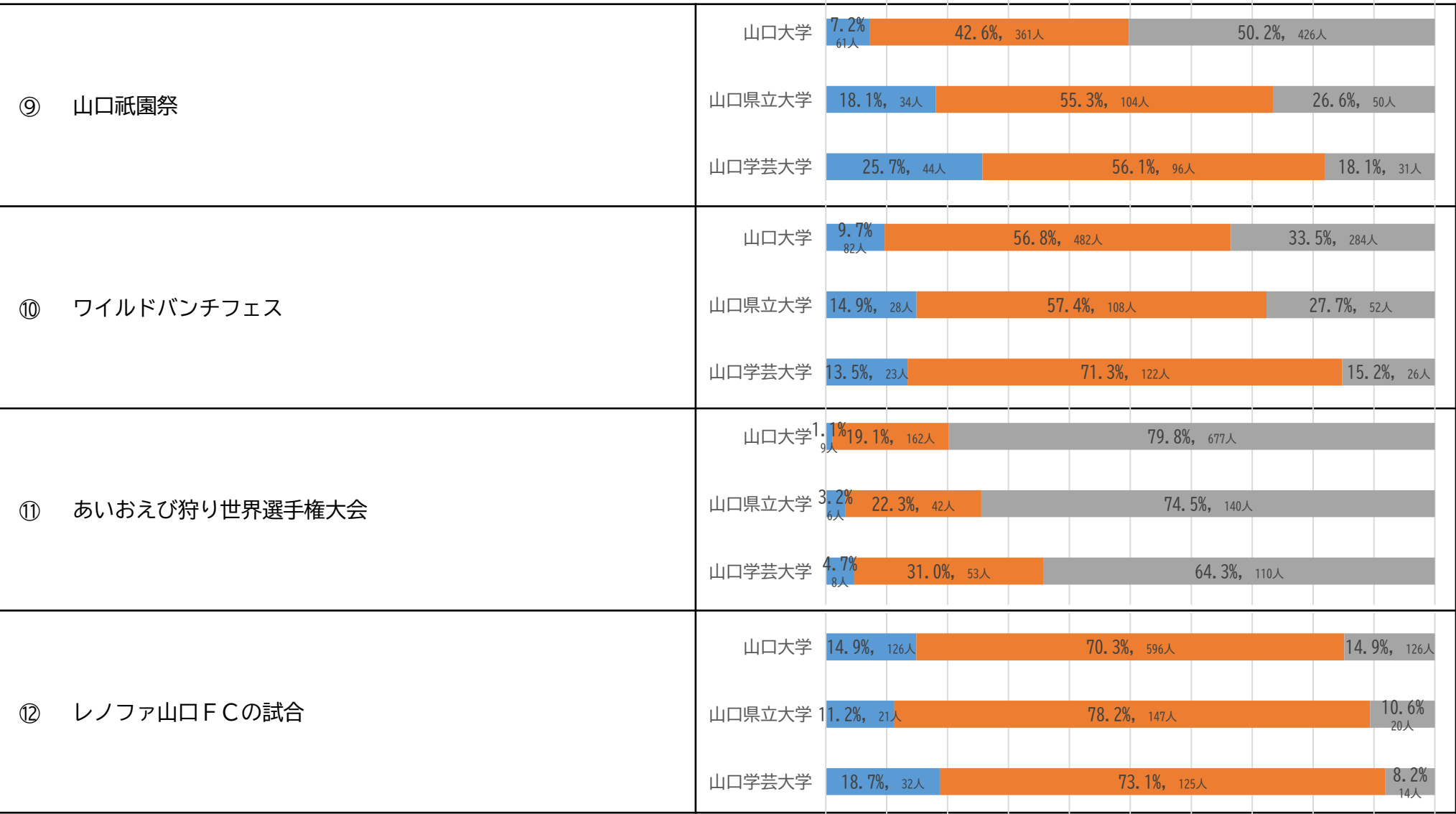
n=1,208

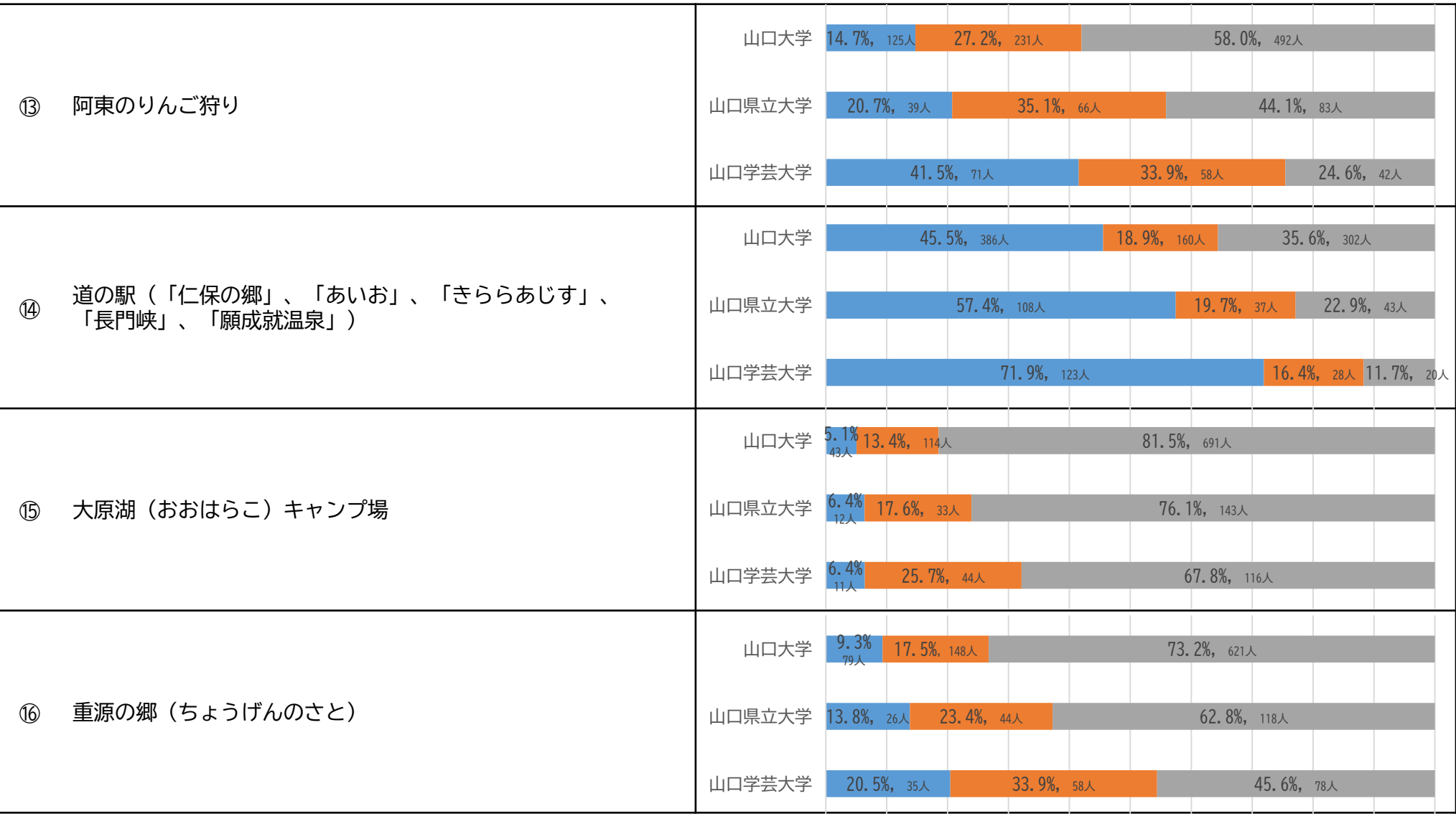
■ 行ったことがある ■ 知っているが行ったことはない ■ 知らない

<参考> 上記（問11）の大学別比較

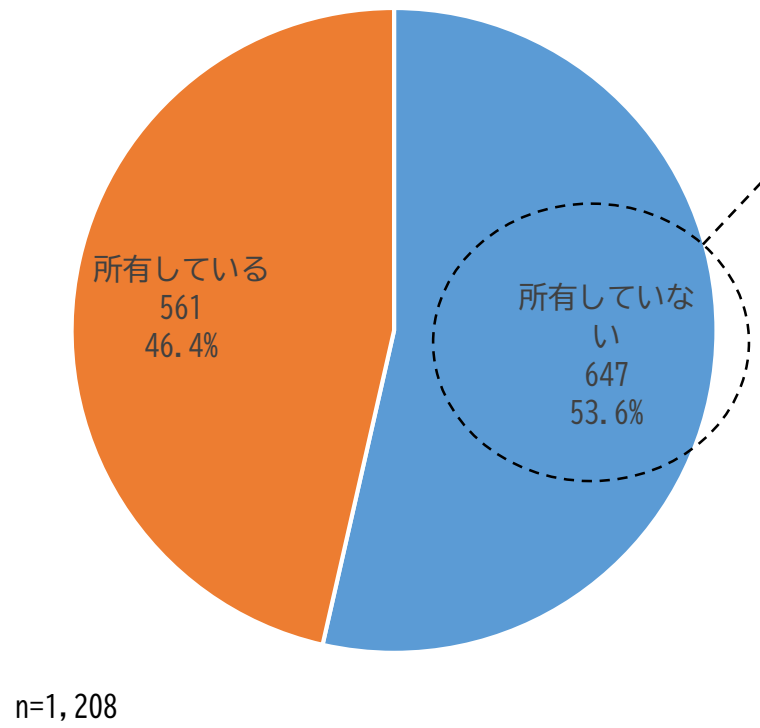




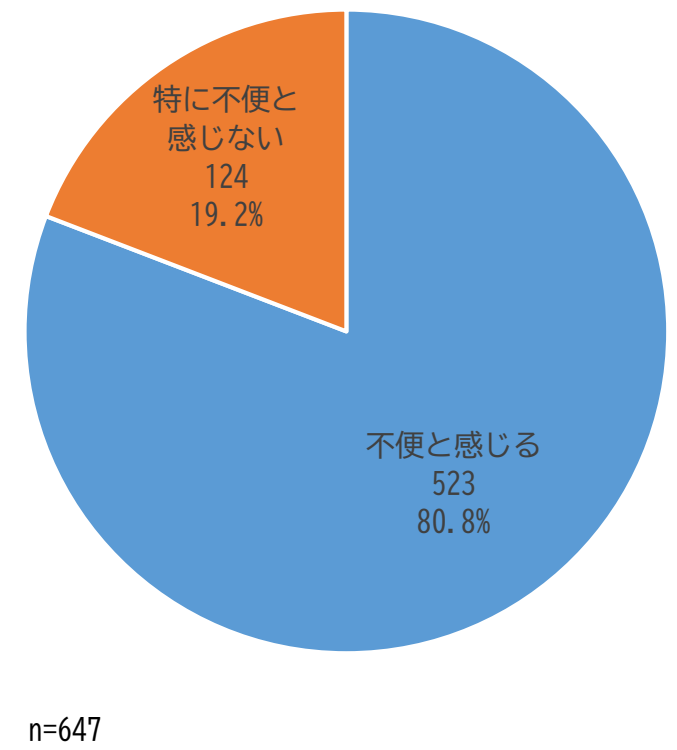




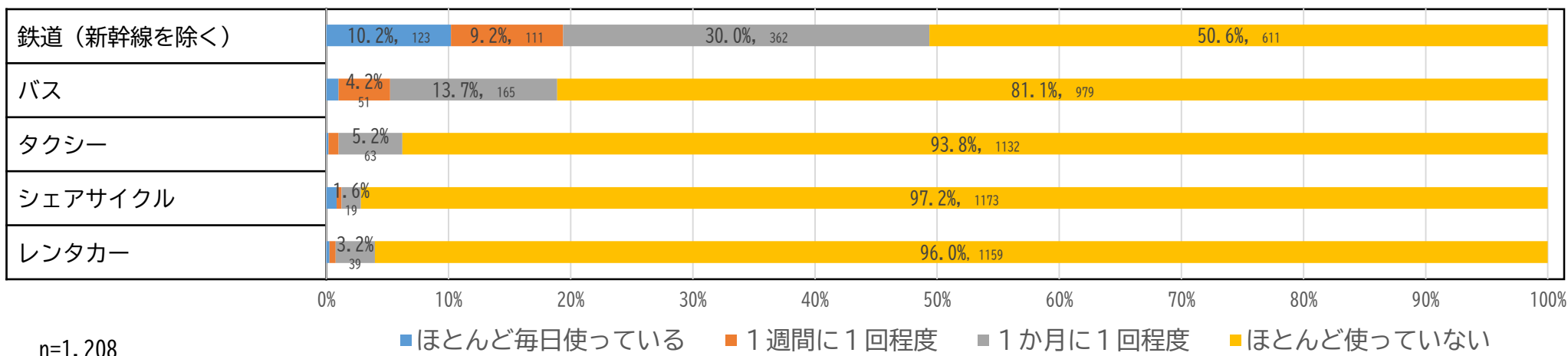
(問 1 2) あなたは自動車またはバイクを所有していますか。



(問 1 3) あなたは自動車またはバイクを所有していないことで不便さを感じていますか。

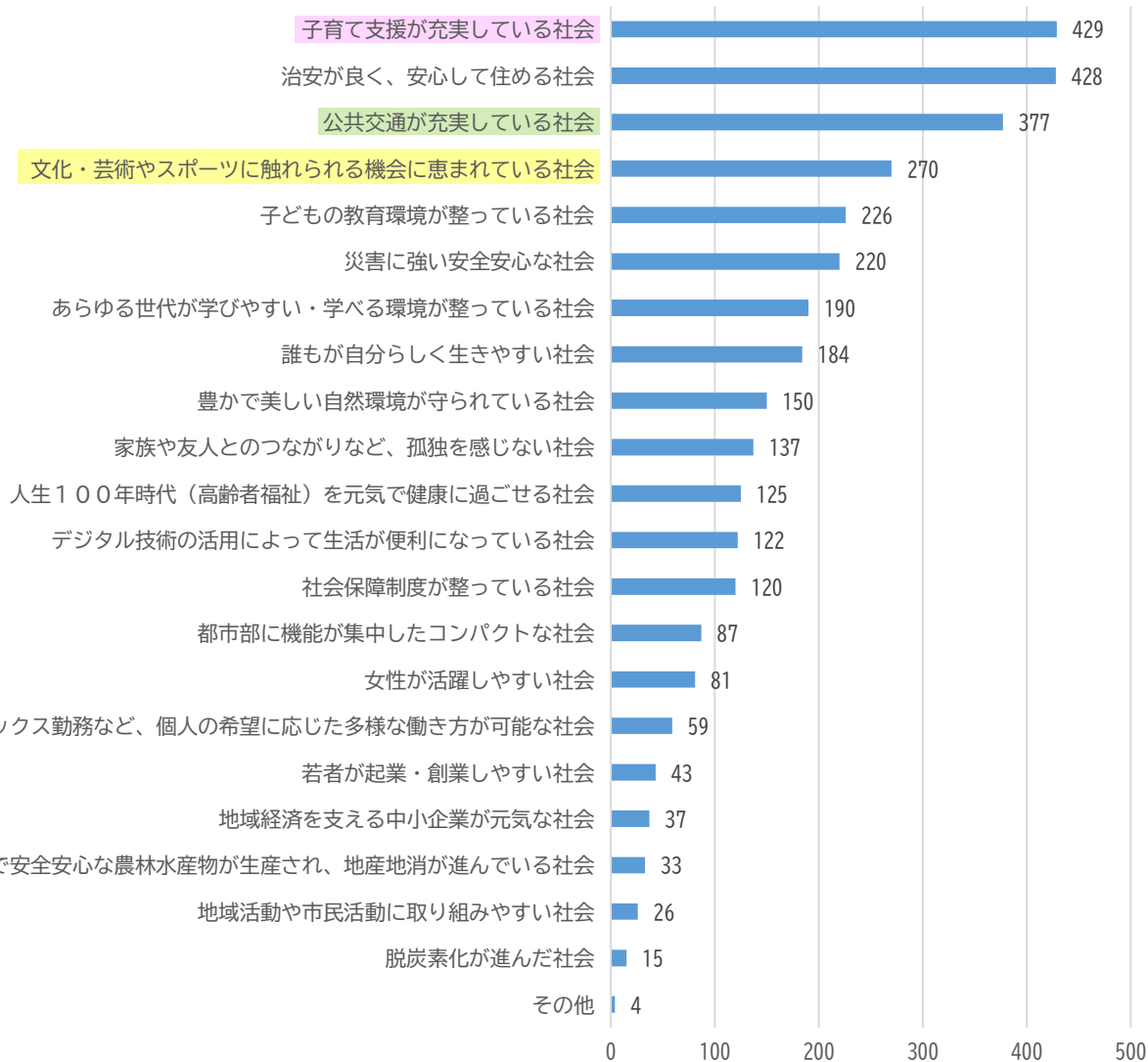


(問14) あなたは山口市内で以下の交通手段をどのくらいの頻度で使っていますか。



(問15) あなたが「こうであれば良いな」と思う地域社会の姿は、以下のうちどちらですか。

大学生のランキング



n=3,363

<参考>

大人のランキング

令和3年度「山口市まちづくりアンケート」における「重要だと思うまちづくりの分野」の結果

重要度の順位	まちづくりの分野
1	災害対策
2	保健・医療
3	公共交通の充実
4	子育て支援
5	高齢者福祉
6	就労環境の充実
7	交通安全・防犯対策
8	社会保障制度
9	障がい者福祉
10	学校教育の充実
11	道路交通網の整備
12	消防・救急体制
13	地域福祉
14	公正、確実な事務と市民サービスの向上
15	都市機能・住環境
16	商工業、サービス業の振興
17	計画的、効果的な行政経営
18	観光の振興
19	農林業の振興
20	下水道等の整備
21	文化の振興
22	自然環境・生活環境
23	市民参画によるまちづくり
24	生涯学習の充実
25	水産業の振興
26	人権意識の向上と男女共同参画
27	スポーツの振興
28	上水道の整備
29	国際化の推進
30	地域活動や市民活動の充実

【娯楽・商業施設等に関する意見】

- 娯楽施設の充実が必要(大型ショッピングモール、映画館、スポッチャ・ラウンドワン・ボウリング等の体を動かして遊べる施設、グランピング施設等の自然体験可能なレジャー施設、夜遅くまで営業しているカフェなど)。
- 大学周辺に、飲食店や、映画館・ボウリング等の娯楽施設がほしい。
- アパレルショップが少ない。ネット通販や県外に買いに行く必要があるため、実際に手にとって服を選べるお店がもっと身近にあればいいと思う。
- 温泉や観光地など、観光としての魅力はあると思うが、若者が住み続けることを考えると、商業施設などの便利なものや若者が好きなものにアプローチしていく必要があると思う。
- 新山口駅に直結した駅ビルなどの商業施設や本屋があれば、新幹線や電車を待つ間の暇つぶしにもなるし、新山口駅に人が集まり活性化にもつながるのでいいと思う。現在の新山口駅は、綺麗なのにそういった商業施設どころかお昼を軽く食べられるようなお店すらほとんどない。
- このあたりに行けば欲しいものやサービスが何でも揃うというエリアが必要。他の地方都市では駅前などに機能が集中しており分かりやすい。
- 大学生は、時間はあるがお金がないという人が大半なので、お金をあまりかけずに遊べる場所、活動できる場所が必要だと思う。
- 「若者パスポート」を作って、交通機関や飲食店などで割引になるなどの優遇を受けられる仕組みがあればいいと思う。そしてその情報をSNS(特にInstagram)で積極的に発信していくといいと思う。
- 使われていない建物の整備や取り壊しが追いついていないため、景観があまり良くない所がある。住みやすいことはもちろん、地域に愛着が湧くためにも、景観の整備が必要だと思う。

など

【仕事、子育てに関する意見】

- 大企業や、働きやすい制度の整った企業など、若者が働きたいと思う魅力的な会社が山口に増えると、大学卒業後に市外や県外へ出ていく若者が減り、山口に自然と定着してくれるのではないかと思う。
- 自然が豊かで過ごしやすいまちなので、企業が充実していれば若者は増えると思う。
- 山口県でも大企業での仕事ができるよう、リモートワークでどこからでも好きな仕事ができる環境が必要。
- 山口に住んでいながら福岡や広島で就職できるように、通勤ライナーなどがあればいいと思う。
- 編集、デザイン、美術、クリエイティブ系、作家など、もっと幅広い種類の就職先が必要。
- 大学生への地元企業の紹介や魅力のPRが必要。どんな企業があるのか、自ら調べる以外に知る機会が少ない。
- 若者が結婚して子育てがしたい、と思えるような経済面での支援が必要。
- 将来家庭を持って安心して生活していけるよう、子育て支援をどこよりも充実させて、アピールすることが必要。山口市がどのような支援を行っているか、どの世代でも知っていることで、前向きな気持ちが生まれると思うし、県外から来た学生も山口市に残りたくなるのではないかと思うので、さらなる広報活動が必要だと思う。
- 子供やその親に対する支援だけではなく、労働者が育休を取得する際に、企業にも支援を行うなど、周辺環境に対する支援も必要。
- 子育て世代になったときに戻ってきたい、と思えるような魅力ある教育が必要だと思う。
- 愛着や思い入れともいえるべき「郷土愛」を持ってもらうことが必要。そのために、人格形成に最も影響を与える幼少期に、山口にしかない魅力(ブランド力)を教え、伝え、体験させるべきだと思う。
- 出産や子育てがしやすく、子育て中の親が気軽にに入れて頼れるコミュニティや、子どもと様々な体験ができる施設・遊び場があるといいと思う。

【情報発信、地域とのつながり等に関する意見】

- 山口の魅力を知らない・気づいていない人が多いように感じる。県内出身者のみならず、県外から来た大学生や専門学生にも知ってもらえるように、山口ならではの魅力をもっと積極的に発信していくべき。
- 山口の魅力若者に向けて発信する手段の充実が必要。学生の多くは、Instagramで、県内における話題のお店や知られていないスポットを紹介しているアカウントをフォローして、休日の出掛け先を決める参考にしている。このようなツールが多くあれば、知らなかった魅力に気付くことができ、住み続けたいと思う。
- 下関の海響館や唐戸市場、岩国の錦帯橋などと比べて、瑠璃光寺の知名度が低い気がする。県内で三つしかない国宝の建造物の一つでもあるし、素敵な場所なのだからもっとアピールしてもいいと思う。
- もっと人と人がつながりを持つことができればいいと思う。現在は、近所の方と接する機会がほぼゼロ。近所に農作物を作られている方がおり、関わりたいと思うが、なんとなく関わりづらい。人とのつながりによって、幸せを感じられて、地域に愛着もわくようになると思う。
- 最近大学内にマンションが建てられたが、大学生専用のマンションだけではなく、地域の方と大学生とが一緒に住んで、相互に助け合うことができるマンションやアパートができたらいいと思う。
- 「山口県が嫌だから」という理由ではなく、県外に住んだことがなく、他の土地での暮らしにも興味があるので県外に住んでみたいという気持ちがある。10代～20代が住み続けたいと思う地域づくりだけでなく、「戻ってきたい」と思える地域づくりも必要。たしかに、10代～20代の定住を促せないで若年人口が流出するかもしれないが、一度県外に出た若者が30代くらいで戻ってくるという流れを生み、人口を維持するという形も方向性の一つなのではないかと思う。

など

【その他の意見】

- 若者が魅力を感じる山口にするためには、「新しさ」を取り入れる必要があると思う。山口市内の観光地についても、季節ごとや数年ごとのリニューアルや新イベントの実施を行うなど、懐かしさや親しみの中にも、新しさや楽しさを感じることができたら良いのかなと思う。
- 中央公園や維新ホール等でのイベントやマルシェを引き続き開催することが必要。
- 山口県が、広島や福岡といった若者が多い県に囲まれている利点を生かし、若者が他県の学生や若い社会人と交流できる機会・イベントがもっとあればいいと思う。そうすることで、刺激を受けつつ、山口県独自の魅力に気づくことができると思うし、大きな街と呼べなくてもコミュニケーションの活発な明るい県になると思う。
- 街灯を増やしてほしい。大学前の通りが暗すぎて、自転車での帰り道がとても危険で怖い。
- 豊かな自然が感じられる場所がたくさんある、心の故郷的な田舎らしさを残すことが必要。
- 様々な立場にいる人たちの声が、きちんと政策として反映されることが必要。
- 山口駅から瑠璃光寺まで、歩いて観光したいと思えるような整備が必要。
- 路線が集合しており、新幹線も通る新山口駅付近がもっと賑やかになればいいと思う。若者は「田舎感」満載なまちにはあまり住みたくないと思う。「田舎感」が最も表れるのが駅付近だと思うので、新幹線停車駅であることが疑問に思わないような駅になってほしい。
- 駅近くをもっと栄えさせてほしい。
- 心を動かされる景色に出会ったり非日常感を感じることができること。
- 私は生まれも育ちも山口ですが、高校生までは交通手段も限られており、山口の良さを気付くことができていなかったが、大学生になり、車で自由に県内のいろんなところに行き、いろんな発見があり、山口をもっともっと好きになった。

Ⅱ 今後の予定

